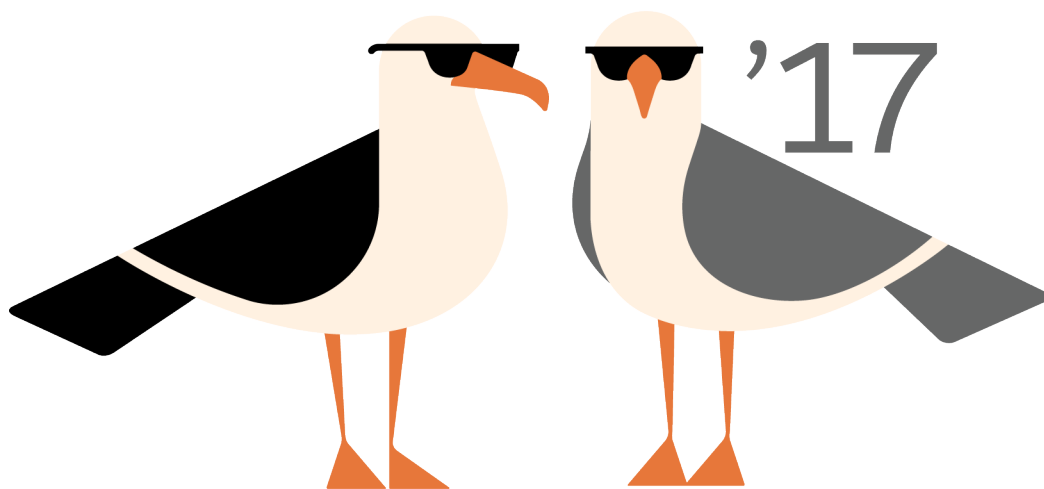


Salesforce の制限

ユーザガイド, Summer '17



本書の英語版と翻訳版で相違がある場合は英語版を優先するものとします。

© Copyright 2000–2017 salesforce.com, inc. All rights reserved. Salesforce およびその他の名称や商標は、salesforce.com, inc. の登録商標です。本ドキュメントに記載されたその他の商標は、各社に所有権があります。

目次

Salesforce の制限	1
一般的な Salesforce の制限	1
管理およびサポートの制限	13
コラボレーションの制限	37
コミュニティの制限	43
機能の制限	51

Salesforce の制限

『Salesforce の制限』は、Salesforce 機能および製品に関連するさまざまな制限を取り上げているリファレンスガイドです。ただし、『Salesforce の制限』はすべての制限を網羅しているわけではなく、お客様の Salesforce 組織に適用されない制限もあります。

記載された制限は、すべての状況で指定されたリソースが規定の制限まで使用できることを保証するものではありません。たとえば、負荷、パフォーマンス、その他のシステムの問題に依存する制限もあります。また、『Salesforce の制限』には、次の制限は含まれていません。

- Salesforce アプリケーションのユーザインターフェース要素
- Salesforce オブジェクトの項目の長さ
- デスクトップインテグレーションクライアント
- Salesforce 契約

すべての制限は、今後予告なく変更される可能性があります。詳細は、Salesforce にお問い合わせください。

Apex、SOAP、REST、他の API を使用したアプリケーションの開発に関する制限については、『[Salesforce Developer の制限クイックリファレンス](#)』を参照してください。

Salesforce 契約により、契約上の制限が適用される場合もあります。

このセクションの内容:

[一般的な Salesforce の制限](#)

[管理およびサポートの制限](#)

[コラボレーションの制限](#)

[コミュニティの制限](#)

コミュニティのユーザ、ポータルロール、モデレーション、レポート作成などに関する制限です。

[機能の制限](#)

一般的な Salesforce の制限

このセクションの内容:

[Salesforce の機能とエディションの制限](#)

エディション別の Salesforce 機能の制限です。

[アクセシビリティの制限](#)

アクセシビリティの全般的な制限、およびキーボードとスクリーンリーダーの制限について説明します。

[Salesforce レポートおよびダッシュボードの制限 - エディション別](#)

レポート、スナップショット、ダッシュボード、条件検索のエディション間の違いを示します。

検索の制限

ファイル拡張子、ファイルサイズ、シノニムグループ、選択リストに関する検索の制限です。

標準オブジェクトの制限

標準オブジェクトの制限には、追加したカスタム項目やオブジェクトに適用した共有ルールなど、オブジェクトのカスタマイズの使用状況に関する詳細が含まれます。

Salesforce の機能とエディションの制限

エディション別の Salesforce 機能の制限です。

 **メモ:** この表の数値と列がうまく表示されない場合は、[こちらの表示](#)を試してください。

機能	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Unlimited Edition と Performance Edition	Developer Edition
アクションプラン:ToDoの最大数	なし				75		
有効なルックアップ検索条件	オブジェクトにつき最大 5 項目。						
オブジェクトあたりの有効な入力規則	なし	20			100	500	100
添付ファイル:[メモ & 添付ファイル]関連リストの最大サイズ ¹		添付ファイル: 25 MB。フィードの添付ファイル: 2 GB。					
カテゴリ:カテゴリおよび階層レベルのデフォルトの最大数	なし				1つのデータカテゴリグループに 100 個のカテゴリ 1つのデータカテゴリグループ階層に 5 個のレベル		
カテゴリグループ: デフォルトの最大数					カテゴリグループ 5 つ、一度に有効にできるグループ 3 つ		
証明書: 最大数					50		
コンテンツ配信:直近 ²⁴ 時間あたりのデフォルトの配信帯域幅	20 GB						
コンテンツ配信:直近 ²⁴ 時間あたりのデフォルトの配信参照カウント数	20,000						

機能	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Unlimited Edition と Performance Edition	Developer Edition
コンテンツ配信:オンライン参照の最大ファイルサイズ	25 MB						
コンテンツ:最大ファイルサイズ	2 GB - Chatter REST API によるアップロード時: 2 GB (ヘッダーを含む) - REST API によるアップロード時: 2 GB (ヘッダーを含む) - SOAP API によるアップロード時: 38 MB - BULK API によるアップロード時: 10 MB - Google ドキュメント: 10 MB - Visualforce によるアップロード時: 10 MB						
コンテンツ:ライブラリの最大数	2,000						
コンテンツ:ドキュメントの最大数	30,000,000						
コンテンツ:24時間あたりのドキュメントおよびバージョンの最大数 (調整可能)	200,000						2,500
コンテンツパック:最大ファイル数	なし	50					
カスタムアプリケーション ²	なし	1		255 この制限を緩和するには、Salesforce にお問い合わせください。	260 この制限を緩和するには、Salesforce にお問い合わせください。	Unlimited	10
オブジェクトあたりのカスタム項目 ³	5	25	100		500	800	500
カスタム表示ラベル	なし			5,000			
カスタムリンク:表示ラベルの最大長	1,024 文字						

機能	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Unlimited Edition と Performance Edition	Developer Edition
カスタムリンク: URL の最大長	3,000 バイト ⁴						
カスタムオブジェクト ⁵	なし	5	50		200	2,000	400
カスタムオブジェクト: 多対多のリレーションでの親レコードの削除	なし	削除された親レコードと関連付けられた連結オブジェクトレコードが 200 個を超えておらず、かつ連結オブジェクトに他の親に積み上げ集計される積み上げ集計項目がない場合に使用できます。					
カスタムオブジェクト: 主従関係の最大数		2 ⁶					
カスタム権限	なし				1,000		
カスタムプロファイル: 最大数	なし			2	ユーザライセンスの種類あたり 1,500		
カスタム設定: キャッシュデータの制限	10MB か、1MB×組織のフルユーザライセンス数のいずれか少ない容量 (Contact Manager Edition および Professional Edition ではなし)						
カスタム設定: 設定あたりの項目の最大数	5	なし	100	なし	300		
ディビジョン: 最大数	なし			100			なし
ドキュメント: カスタムアプリケーションロゴの最大サイズ	20 KB						
ドキュメント: アップロードするドキュメントの最大サイズ	5 MB						
ドキュメント: ファイル名の最大長 (拡張子を含む)	255 文字						
エンタイトルメントプロセスとマイルストーン	なし			エンタイトルメントプロセスは合計で 1,000 個まで、マイルストーンはプロセスごとに 10 個まで作成できます。組織が Summer '13 より前に作成された場合、エンタイトルメントプロセスの最大数はこれより小さくなる場合があります。Salesforce に問い合わせで最大数を増やします。			
外部オブジェクト ⁷	なし				100		

機能	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Unlimited Edition と Performance Edition	Developer Edition
項目履歴管理:標準またはカスタムオブジェクトで追跡する標準またはカスタム項目の最大数	なし	20					
ファイルサイズ: Chatter および [ファイル] タブ の最大ファイルサイズ	2 GB						
会計年度: カスタムの最大数	250						
数式: 数式の評価後に表示される最大文字数	1,300						
数式: 最大文字数	3,900 文字						
数式: コンパイル完了時の最大サイズ	5,000 バイト						
数式: 保存時の最大サイズ	4,000 バイト						
数式: オブジェクトあたりの一意のリレーション数	15						
数式: オブジェクトあたりの VLOOKUP 関数の数	10						
アイデア: HTML 形式のアイデアのコメントの最大サイズ	なし				4 KB		
アイデア: HTML 形式のアイデアの説明の最大サイズ					32 KB		
Lightning アプリケーション	なし			10	25	制限なし	なし
Lightning ページ: 単一範囲内のコンポーネントの最大数	25						

機能	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Unlimited Edition と Performance Edition	Developer Edition
主従関係:子レコードの最大数	10,000 ⁸						
オブジェクト:削除する結合オブジェクトと子レコードの最大数	100,000						
オムニチャネル:待機中の転送要求の最大数 ⁹	なし			30,000			
オムニチャネル:キューに入っている作業項目の最大数 ¹⁰				1 時間あたり 5,000			
商談チーム:メンバーの最大数	なし				30		
権限セット:最大数 (作成される場合)	なし	1		2	1,000		
権限セット:最大数 (インストールされた管理 AppExchange パッケージの一部として作成および追加される権限セット)	N/A		1,500				
質問:最大文字数	なし				1,000		なし
質問:最大文字数 (Chatter アンサーの「質問フローを最適化」が有効な場合)					32,000		
見積 PDF: ロゴの最大高さ	なし			150 ピクセル			
見積 PDF: ロゴの最大サイズ				5 MB			
ごみ箱:最大レコード数	MB 単位のストレージ容量の 25 倍						
返信:最大文字数	なし				1,000		なし
返信 (非公開):最大文字数 (Chatter アンサーの					4,000		なし

機能	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Unlimited Edition と Performance Edition	Developer Edition
「質問フローを最適化」が有効な場合)							
返信 (公開): 最大文字数 (Chatter アンサーの「質問フローを最適化」が有効な場合)					32,000		なし
Shared Activities	最大 50 件の取引先責任者を定期的でない ToDo、グループではない ToDo、定期的でない行動に関連付けることができます。主取引先責任者を 1 人割り当てられます。その他はすべて副取引先責任者です。						
共有ルール	なし			オブジェクトあたり最大で 300 件の共有ルールを作成し、条件に基づくルールを最大で50件含めることができます。			
静的リソース	なし	静的リソースの容量は最大 5 MB です。組織は、合計で最大 250 MB の静的リソースを使用できます。					
タブ ²		3	5	1,210 この制限を緩和するには、Salesforce にお問い合わせください。	1,225 この制限を緩和するには、Salesforce にお問い合わせください。	1,225 この制限を緩和するには、Salesforce にお問い合わせください。	100
タグ	ユーザは次の最大数で制限されます。 - 個人タグの作成数は 500 個まで - 個人タグのレコードへの適用数は 5,000 件まで すべてのユーザを対象として、組織で持つことができるそれぞれの最大数は次のとおりです。 - 公開タグの作成数は 1,000 個まで - 公開タグのレコードへの適用数は 50,000 件まで - 個人タグと公開タグのレコードへの適用数は 5,000,000 件まで						
テリトリリー:取引先割り当てルールの最大数	なし				15		
ユーザ: 最大作成数	1	5	10	制限なし			2

機能	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Unlimited Edition と Performance Edition	Developer Edition
ユーザ: 最大作成数 (Chatter Free)	N/A	5,000					
Visual Workflow	なし				各フローの制限は次のとおりです。 50 バージョン 2,000 ステップ 各組織の制限は次のとおりです。 500 の有効なフロー 1,000 の合計フロー - 一時点の待機中インタビュー数は 30,000 件 1 時間あたりに処理される行動は 1,000 件 - フローおよびフローバージョン全体の定義済み相対アラームイベントは 20,000 件		
Web-to-ケース: 24 時間あたりの生成する新規ケースの最大件数	なし				5,000 ¹¹		
Web-to-リード: 24 時間あたりの生成する新規リードの最大件数					500 ¹¹		

¹ ケース、ソリューション、キャンペーン、ToDo、または行動の [添付ファイル] 関連リストか、取引先、取引先責任者、リード、商談、またはカスタムオブジェクトの [メモ & 添付ファイル] 関連リストに添付ファイルを追加できます。ToDo の関連リストまたは行動ページレイアウトが表示されない場合は、追加するようシステム管理者に依頼する必要があります。

² AppExchange に公開して投稿された管理パッケージに含まれるカスタムアプリケーションとカスタムタブは、ご使用の Salesforce エディションの制限数の対象になりません。

³ その他の制限が、活動項目、ロングテキストエリア項目、リレーション項目、積み上げ集計項目に適用されます。

⁴ データが URL のトークンと入れ替えられる場合、リンクが 3,000 バイトを超える可能性があります。ブラウザによっては、URL の最大長に追加の制限が適用されます。

⁵ AppExchange に公開して投稿された管理パッケージに含まれるカスタムオブジェクトは、ご使用の Salesforce エディションの制限数の対象になりません。オブジェクトのソースや名前空間にかかわらず、組織は 2,000 を超

えるカスタムオブジェクトを同時に持つことはできません。論理削除したカスタムオブジェクトとそのデータは、制限の対象に含まれます。不要なカスタムオブジェクトは物理削除または消去することをお勧めします。

⁶それぞれのリレーションは、規定されているカスタム項目の最大数に計数されます。

⁷100 件の外部オブジェクト制限は、組織で購入する Salesforce Connect アドオン数に関係なく適用されます。外部オブジェクトは、カスタムオブジェクトの制限でカウントされません。

⁸ベストプラクティスとして、主従関係の子レコードは 10,000 を超えることはできません。

⁹組織でオムニチャネルルーティングを待機中にできるオブジェクトの最大数。オムニチャネル対応キューに項目が割り当てられると、オムニは対応可能なエージェントにその項目を転送しようとします。エージェントがいない場合は、その作業の転送が待機中になります。キューの待機中の転送要求数が 10,000 を越えると、Omni-Channel Supervisor のパフォーマンスが低下する場合があります。

¹⁰すべてのオムニチャネル対応キューについて、組織で 1 時間あたりにキュー可能なレコードの最大数。項目がオムニチャネルキューに割り当てられるたびに、直前の 1 時間でキューに入れられた項目数がプラットフォームで確認されます。制限に達した場合、項目はキューに割り当てられません。

¹¹ 組織が日次の Web-to-ケースまたは Web-to-リードの制限数を超えた場合、デフォルトのケース所有者またはデフォルトのリード作成者にケースまたはリードの情報を含む通知メールが送信されます。組織が 24 時間の制限に達した場合は、Salesforce では Web-to-ケース要求および Web-to-リード要求を含む待機中の要求のキューに追加の要求を格納します。要求は制限が更新されると申請されます。待機中の要求のキューの制限は合計 50,000 件です。組織が待機中の要求の制限に達すると、制限を超える要求は却下され、キューに入れられません。システム管理者は、申請が却下された最初の 5 件のメールに関して通知を受け取ります。組織の待機中の要求の制限を変更するには、Salesforce カスタマーサポートにお問い合わせください。

アクセシビリティの制限

アクセシビリティの全般的な制限、およびキーボードとスクリーンリーダーの制限について説明します。

アクセシビリティの全般的な制限

Chatter と Salesforce コンソールは、アクセシビリティ機能に対応していません。

晴眼のキーボードユーザ向けに最適化されていない Salesforce 機能

次の機能は、サードパーティに所有権がある、アクセシビリティのソリューションとして現在適切なサポートがされていない、当社の開発環境に制約があるなどの理由で、晴眼のキーボードユーザからすべてにアクセスできるようになっていません。

- 視覚焦点インジケータは実装されていません。
- コンテンツによっては、対応するキーボードフォーカスと順序コントロールがないまま、フロート表示ボックスに表示されるものがあります。Chatter とトレーニングビデオにそのようなものがあります。
- ドラッグ&ドロップ方式のインターフェースなど、いくつかのリッチインタラクティブインターフェースには、キーボードアクセスができないものがあります。これらは代替方式が用意されている場合もありますが、アクセシビリティモードで使用できないものもあります。

スクリーンリーダーユーザ向けに最適化されていない Salesforce 機能

次の機能は、サードパーティに所有権がある、アクセシビリティのソリューションとして現在適切なサポートがされていない、当社の開発環境に制約があるなどの理由で、スクリーンリーダーユーザからすべてにアクセスできるようになっていません。

- ドラッグ&ドロップ方式のインターフェースなど、いくつかのリッチインタラクティブインターフェースには、アクセスできないものがあります。これらは代替方式が用意されている場合もありますが、アクセシビリティモードで使用できないものもあります。
- PDF ファイルはアクセシビリティ用にマークアップされていません。また、代替となるものもありません。
- トレーニングビデオには、音声解説がありません(拡張音声解説など)。
- いくつかのコンテンツは、スクリーンリーダーからモーダル(応答を必要とするもの)とは認識されないフロート表示ボックスに表示され、ユーザはフロート表示を破棄しなくても他のコンテンツと対話できます。Chatter とトレーニングビデオにそのようなものがあります。
- 読み取り速度が遅い場合、セッションタイムアウトの警告のため、ユーザ応答のための十分な時間がとれない場合があります。

Chatter と Salesforce コンソールは、アクセシビリティ機能に対応していません。

Salesforce レポートおよびダッシュボードの制限 - エディション別

レポート、スナップショット、ダッシュボード、条件検索のエディション間の違いを示します。

機能	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Unlimited Edition と Performance Edition	Developer Edition		
カスタムレポートタイプ (制限は、開発状況に関係なく、すべてのカスタムレポートタイプに適用される)	N/A			50	200	2,000	400		
ダッシュボード検索条件				1 ダッシュボードにつき 3 個					
1 組織あたりの動的ダッシュボード数	なし				最大 5 個	最大 10 個	最大 3 個		
レポートあたりの項目検索条件数 ¹	20								
レポートあたりの数式	5								
レポート作成スナップショット	なし			1 ² 、3、4	1 ²	2 ²	1 ² 、3、4		

機能	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Unlimited Edition と Performance Edition	Developer Edition
ダッシュボードの更新のスケジュール設定	なし				1 ²	2 ²	なし
時間あたりのスケジュール済みレポート (メール送信するレポートの容量は最大 10 MB)。	N/A			1 ² 、3、5	1 ²	2 ²	1 ² 、3、5

¹ これらの制限はレポートビルダーに適用されます。レポートウィザードを使用している場合、制限は 10 です。

² 合計で最大 200 まで。

³ オフピーク時 (ローカル時間の午後 6 時 ~ 午前 3 時) のみ。

⁴ 希望開始時刻は 1 日 1 つに制限されます。

⁵ 希望開始時刻は 1 日 3 つに制限されます。

検索の制限

ファイル拡張子、ファイルサイズ、シノニムグループ、選択リストに関する検索の制限です。

このセクションの内容:

検索の制限

ドキュメントレコードとシノニムグループの検索の制限です。

シノニムに関する検索の制限

シノニムグループを使用すると、検索で語または句のグループを同義とみなします。シノニムグループのいずれかの語を検索すると、グループ内のすべての語に対する結果が返されます。組織は、最大 10,000 個のシノニムグループを作成できます。

選択リストに関する検索の制限

特定のオブジェクトに対して検索結果を並び替える場合、複数選択リスト項目のデータ型は並び替えることができないため、複数選択リスト項目の列ヘッダーはクリックできません。

統合検索の制限

検索について、1 時間あたりの新規検索結果数、組織あたりの外部オブジェクト数、OAuth トークンの最大長に関する制限があります。

検索の制限

ドキュメントレコードとシノニムグループの検索の制限です。

ドキュメントの検索の制限

ドキュメントコンテンツの検索では、複数のファイルの種類がサポートされ、ファイルサイズに制限があります。最大サイズを超えるドキュメントのコンテンツは検索できません。ただし、ドキュメント項目は検索されます。最初の 100 万文字のみが検索されます。この制限を超えるテキストは検索に含まれません。

ファイルの種類	ファイル拡張子	最大サイズ
HTML (<body> タグ内のテキストのみ)	.htm、.html、.xhtml	5 MB
PDF	.pdf	25 MB
PPT	.pot、.pps、.ppt	25 MB
RTF	.rtf	5 MB
テキスト	.a .app .css .csv .ini .java .log .sql .txt	5 MB
Word	.doc、.dot	25 MB
XLS	.xls、.xlt	5 MB、または最大 100,000 セル
XML	.xml	5 MB

シノニムに関する検索の制限

シノニムグループを使用すると、検索で語または句のグループを同義とみなします。シノニムグループのいずれかの語を検索すると、グループ内のすべての語に対する結果が返されます。組織は、最大 10,000 個のシノニムグループを作成できます。

関連トピック:

[Chatter のファイル検索の制限](#)

[Salesforce Files と Salesforce CRM Content の制限](#)

シノニムに関する検索の制限

シノニムグループを使用すると、検索で語または句のグループを同義とみなします。シノニムグループのいずれかの語を検索すると、グループ内のすべての語に対する結果が返されます。組織は、最大 10,000 個のシノニムグループを作成できます。

選択リストに関する検索の制限

特定のオブジェクトに対して検索結果を並び替える場合、複数選択リスト項目のデータ型は並び替えることができないため、複数選択リスト項目の列ヘッダーはクリックできません。

統合検索の制限

検索について、1時間あたりの新規検索結果数、組織あたりの外部オブジェクト数、OAuth トークンの最大長に関する制限があります。

1 時間あたりの新規検索結果の最大数	1 組織につき 100,000 件  メモ: これは、すべての外部データソースを合わせた制限です。たとえば、OData ソースと OpenSearch ソースがある場合、制限には両方の使用量が含まれます。
組織あたりの外部オブジェクトの最大数	200  メモ: これは、すべての外部データソースを合わせた制限です。
外部システムから発行される OAuth トークンの最大長	4,000 文字

標準オブジェクトの制限

標準オブジェクトの制限には、追加したカスタム項目やオブジェクトに適用した共有ルールなど、オブジェクトのカスタマイズの使用状況に関する詳細が含まれます。

リストは、オブジェクトによって異なります。カスタマイズがオブジェクトに許可された制限を超えた場合、または制限の 75% に達した場合、対処方法を提案するヒントが表示されます。

特定の標準オブジェクトをカスタマイズする場合、またはそのオブジェクトのカスタマイズの利用状況および制限を監視する場合、標準オブジェクトの制限ページを参照します。

適切なオブジェクトの管理設定から、[制限] に移動します。

 **メモ:** オブジェクトの制限割合 (%) は、切り上げではなく、切り捨てられます。たとえば、組織が特定のカスタマイズの制限の 95.55% を使用している場合、オブジェクト制限には 95% と表示されます。

エディション

使用可能なエディション:
Salesforce Classic および
Lightning Experience の両方

使用可能なエディション:
Database.com Edition を除く
すべてのエディション

管理およびサポートの制限

このセクションの内容:

割り当てルール、自動レスポンスルール、エスカーレーションルール、およびワークフロールールの制限
エディション別の、リードの生成、メールレスポンス、エスカーレーション、ワークフローの自動化の制限です。

[Chatter アンサーの制限](#)

質問およびカスタマーポータルのカスタマイズの制限です。

項目、選択リスト、データ設定の制限

カスタム項目、選択リスト、カスタム選択リスト、カスタムデータ設定の制限です。

カスタマーポータルの制限

カスタマーポータルのカスタムオブジェクトの制限およびポータルユーザの制限です。

データのインポートの制限

データローダを使用したデータのインポートの制限です。

外部データのインテグレーションの制限

Salesforce Connect では、Salesforce 組織外に保存されているデータへのアクセスに制限があります。

External Identity ユーザ数制限

External Identity ユーザライセンス数による制限。

メール制限

メール、一括メール送信、ワークフローメールの制限です。

Salesforce ナレッジの制限

エディション別の Salesforce ナレッジの制限です。

項目の制限事項

暗号化項目、差し込み項目、数式項目の制限事項です。

ファイルとディスク使用制限

Salesforce Files、CRM コンテンツ、Chatter、ストレージ割り当ての制限です。

Force.com サイトのページビューの制限

ページビューとしてカウントされる要求の制限です。

Force.com サイトの請求の制限

Force.com サイトに関連する制限および請求に使用される用語です。

Sandbox と Sandbox ストレージの全般的な制限

Sandbox 環境の制限です。

パスワードポリシーの制限

ユーザパスワードの数値と使用の制限です。

サイトのエディションの制限

エディション別の、サイト数、帯域幅、サービス要求時間、最大ページビューの制限です。

Site.com のインポートの制限

サイトおよびファイルのインポートの制限です。

Web 要求の制限

Web 要求の同時使用の制限です。

割り当てルール、自動レスポンスルール、エスカーレーションルール、およびワークフロールールの制限

エディション別の、リードの生成、メールレスポンス、エスカーレーション、ワークフローの自動化の制限です。

割り当てルールは、組織のリードの生成とサポートプロセスを自動化します。自動レスポンスルールは、リードまたはケース登録に自動メールレスポンスを送信する条件を指定します。エスカレーションルールは、ケースが一定の期間内に解決されない場合に自動的にエスカレーションを行います。ワークフロールールは、項目の更新や ToDo の作成などの自動アクションを実行する条件を指定します。

次の表に、ルールの制限を示します。

制限	詳細
オブジェクトごとのアクティブなルール (制限は、有効なワークフロールール、割り当てルール、自動レスポンスルール、エスカレーションルール、およびプロセスの任意の組み合わせに適用されます。)	50
割り当てルール、自動レスポンスルール、およびエスカレーションルール	それぞれ次の制限があります。 • 3,000 件のエントリ • 300 件の数式条件エントリ • エントリごとに 25 件の検索条件
ルールあたりの使用できるアクションの合計	200
許可されたルール数合計 (制限は、有効または無効のワークフロールール、割り当てルール、自動レスポンスルール、およびエスカレーションルールの任意の組み合わせに適用されます。)	オブジェクトあたり 500、組織あたり 2,000

Chatter アンサーの制限

質問およびカスタマーポータルのカスタマイズの制限です。

Chatter アンサーは、ケース、アンサー、Force.com サイト、カスタマーポータル、Salesforce ナレッジを Web コミュニティに統合します。

Chatter アンサーには次の制限が適用されます。

- Chatter アンサーの質問は、最大で 500 件の回答を受け取ることができます。
- カスタマーポータルをカスタマイズする場合、アンサーではすべてのタブスタイルおよび次のページスタイルのみがサポートされます。
 - ページ背景
 - テキスト
 - リンク
 - リンクのプロトタイプ表示

項目、選択リスト、データ設定の制限

カスタム項目、選択リスト、カスタム選択リスト、カスタムデータ設定の制限です。

このセクションの内容:

オブジェクトごとに許可されるカスタム項目

エディション別のカスタム項目数の制限です。

カスタム選択リストの制限

ユーザがあらかじめ定義された選択肢から値を選択できる、カスタマイズされた選択肢のリストの制限です。

カスタム設定制限

カスタム設定が許可されるキャッシュデータの量の制限です。

標準選択リストの制限

標準選択リストの値セットの制限です。

オブジェクトごとに許可されるカスタム項目

エディション別のカスタム項目数の制限です。

オブジェクトあたりの使用できるカスタム項目数は、Salesforce のエディションによって異なります。活動項目、ロングテキストエリア項目、リッチテキストエリア項目、リレーション項目、および積み上げ集計項目の最大数も同様に異なります。

データ型	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Developer Edition	Unlimited Edition と Performance Edition
活動	なし			20	100		
ロングテキストエリア	項目のデータ型に関係なく、オブジェクトに許可されるカスタム項目の合計数に関するエディションの制限は適用されますが、オブジェクトには、リッチテキストエリア項目やロングテキストエリア項目を無制限に含めることができます。各オブジェクトは、ロングテキストエリア項目とリッチテキストエリア項目で 160 万文字を使用できます。ロングテキストエリア項目またはリッチテキストエリア項目を作成するとき、項目の文字数制限、つまり入力可能なテキストの最大長を設定します。ロングテキストエリア項目とリッチテキストエリア項目のデフォルトの文字数制限は、32,768 文字 (32 KB) です。ロングテキストエリア項目とリッチテキストエリア項目の最大文字数制限は、131,072 文字 (128 KB) です。最小文字数制限は 256 文字です。リッチテキストエリア項目にアップロードできる画像の最大サイズは 1 MB です。						
リッチテキストエリア							
リレーション	なし	40					
積み上げ集計		25					

カスタム選択リストの制限

ユーザがあらかじめ定義された選択肢から値を選択できる、カスタマイズされた選択肢のリストの制限です。

単一選択のカスタム選択リストの場合は次のようになります。

- 最大 1,000 個の値
- 値あたり最大 255 文字

複数選択のカスタム選択リストの場合は次のようになります。

- 最大 500 個の値
- 値あたり最大 255 文字

ユーザは 1 レコードに対し一度に最大 100 個の値を選択できます。

カスタム設定制限

カスタム設定が許可されるキャッシュデータの量の制限です。

カスタム設定には、数式項目、入力規則、Apex、および SOAP API からアクセスできます。

キャッシュされるデータ量およびカスタム設定には次の制限が適用されます。

- 組織に許可されるキャッシュデータの合計量は、次の 2 つの値のうち小さい方です。
 - 10 MB
 - 1 MB × 組織のフルユーザライセンス数

たとえば、組織にフルライセンスが 3 つある場合、カスタム設定ストレージは 3 MB になります。組織にフルライセンスが 20 ある場合は、ストレージが 10 MB になります。

- 組織の制限に加えて、認定管理パッケージごとに別個の制限が適用されます。たとえば、組織に認定管理パッケージが 2 つインストールされ、フルライセンスが 3 つあるとします。組織の 3 MB というカスタム設定のストレージ制限に加え、認定管理パッケージごとに 3 MB のストレージをカスタム設定できます。
- カスタム設定ごとに、最大 300 個の項目を追加できます (カスタムオブジェクトの項目制限が 300 未満の場合を除く)。カスタムオブジェクトの項目制限が 300 未満の場合は、カスタム設定の項目制限とカスタムオブジェクトの項目制限が同じになります。

標準選択リストの制限

標準選択リストの値セットの制限です。

選択リストとはカスタマイズされた選択内容のリストのことであり、このリストを使用して、ユーザはあらかじめ定義されたリストから値を選択できます。

選択リストに使用できる最大文字数は、選択リストの種別によって異なります。選択リストの各値には改行と復帰の記号が含まれますが、これらは表示されません。値ごとに追加されるこの 2 文字も、各値の文字制限に数えられます。

標準選択リストの場合、各値には改行と復帰を除く最大 255 文字を含めることができます。これは単一選択リストと複数選択リストに適用されます。

選択リスト項目	値の最大数
リード状況	100
ToDo の状況	100
ToDo の優先度	50
ケースの状況	100
ケース優先度	50
商談フェーズ	100

カスタマーポータルの制限

カスタマーポータルのカスタムオブジェクトの制限およびポータルユーザの制限です。

有効にできるカスタマーポータル数とカスタマーポータルユーザライセンス数についての詳細は、Salesforce にお問い合わせください。

カスタマーポータルのカスタムオブジェクトの制限

カスタマーポータルのカスタムオブジェクトには次の制限が適用されます。

- カスタマーポータルで作成できるカスタムオブジェクトの最大数は、使用しているエディションで作成できるカスタムオブジェクトの総数によって決定されます。
- また、カスタマーポータルでポータルユーザに表示できるカスタムオブジェクト数は、ユーザライセンスによって制御されます。詳細は、Salesforce にお問い合わせください。

個人取引先の制限

Salesforce ユーザは最大 1000 件の個人取引先ポータルユーザの所有者になることができます。これには、Customer Community Plus ライセンス、Customer Portal ライセンス、およびその他のロールベースのポータルライセンスを持つ個人取引先ユーザが含まれます。High Volume Customer Portal や Customer Community など、大規模ポータルライセンスを持つ個人取引先ユーザは、この制限数の対象にはなりません。パートナーポータルライセンスまたはパートナーコミュニティライセンスを持つユーザは、個人取引先ユーザになり得ないため、この制限は適用されません。

ポータルロールの制限

組織のポータルまたはコミュニティで使用できるロールの最大数は 5000 です。この制限には、組織のすべてのカスタマーポータル、パートナーポータル、またはコミュニティに関連付けられたロールが含まれます。この数が不必要に増加しないように、ロール数を確認して削減することをお勧めします。使用していないロールを削除することもできます。さらに多くのロールが必要な場合は、Salesforce カスタマーサポートまでご連絡ください。

データのインポートの制限

データローダを使用したデータのインポートの制限です。

データローダを使用してインポートしたデータには次の制限事項が適用されます。

特定の範囲内の日付のみが有効です。最も早い有効な日付は 1700-01-01T00:00:00Z GMT、つまり、1700 年 1 月 1 日の午前 0 時です。有効な日付の最大値は 4000-12-31T00:00:00Z GMT、つまり、4000 年 12 月 31 日の午前 0 時です。これらの値は、タイムゾーンごとのオフセットとなります。たとえば、太平洋タイムゾーンでは、最も早い有効な日付は 1699-12-31T16:00:00、つまり 1699 年 12 月 31 日の午後 4 時です。

バージョン 28.0 以降のデータローダを使用する場合、インポートした CSV ファイルの項目最大サイズは 32,000 文字です。

外部データのインテグレーションの制限

Salesforce Connect では、Salesforce 組織外に保存されているデータへのアクセスに制限があります。

一般的な Salesforce Connect の制限

割り当てられたユーザライセンスによって、各ユーザがアクセスできるカスタムオブジェクトの最大数が決まります。その数まで外部オブジェクト権限を付与することもできます。外部オブジェクトは、カスタムオブジェクトの制限でカウントされません。

組織あたりの外部オブジェクトの最大数 ¹	100
外部オブジェクトとその他の種別のオブジェクト全体でのクエリあたりの結合の最大数	4
外部システムから発行される OAuth トークンの最大長	4,000 文字
1時間あたりに SOSL 検索および Salesforce 検索で取得される新しい行の最大数。この制限は、大量データの外部データソースには適用されません。	100,000
1時間あたりに取得または作成される新しい行の最大数。この制限は次には適用されません。	50,000
- 大量データの外部データソース - 検索結果としてのみ取得され、開いたり編集されたりしない行 - すでに取得されているその他の行	

¹100 件の外部オブジェクト制限は、組織で購入する Salesforce Connect アドオン数に関係なく適用されます。外部オブジェクトは、カスタムオブジェクトの制限でカウントされません。

エディション

使用可能なエディション:
Salesforce Classic および
Lightning Experience の両方

使用可能なエディション:
Developer Edition

有料オプションで使用可能なエディション:
Enterprise Edition、
Performance Edition、および
Unlimited Edition

次の制限は、Salesforce Connect の OData 2.0 および 4.0 アダプタにのみ適用されます。

OData の最大 HTTP 要求サイズ	8 MB
OData の最大 HTTP 応答サイズ	8 MB
OData クエリの最大結果セットサイズ	16 MB
OData サブクエリの最大結果セットサイズ	1,000 行

組織には次の制限があります。

- Enterprise Edition、Performance Edition、および Unlimited Edition では、1 時間あたり 10,000 個の OData コールアウト。要求に応じて制限を緩和できます。
- Developer Edition では、1 時間あたり 1,000 個の OData コールアウト。

External Identity ユーザ数制限

External Identity ユーザライセンス数による制限。

コミュニティ内の External Identity ライセンスユーザ数が 1 か月に 1,000 万ユニークユーザを超えないようにすることをお勧めします。この制限を超えて追加のユーザライセンスが必要な場合は、Salesforce アカウントエグゼクティブにお問い合わせください。この制限を超えると、追加料金および機能の低下が生じる可能性があります。

メール制限

メール、一括メール送信、ワークフローメールの制限です。

このセクションの内容:

メールの全般的な制限

エディションごとのメールおよびメールテンプレートの制限です。

メールアラートの日次制限

メールアラートから送信されるメールの 1 日の制限は、1 組織につき標準 Salesforce ライセンスあたり 1,000 件です。ただし無料の Developer Edition およびトライアル組織は例外で、1 日のワークフローメールの制限は 15 件になります。組織全体での制限は 2,000,000 件です。この制限は、ワークフロールール、承認プロセス、フローまたは REST API でメールアラートから送信されるメールに適用されます。

一括メール送信の制限

エディション別の一括メール送信の制限です。

メールの全般的な制限

エディションごとのメールおよびメールテンプレートの制限です。

API または Apex を使用して、グリニッジ標準時 (GMT) に基づき 1 日に最大 5,000 個の外部メールアドレスに単一メールを送信できます。Salesforce の Email Author やコンポーザを使用して送信した単一メールは、この制限に含まれません。取引先、取引先責任者、リード、商談、ケース、キャンペーン、カスタムオブジェクトの各ページから、組織の取引先責任者、リード、個人取引先、ユーザに個別のメールを直接送信する場合は、制限はありません。

機能	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Unlimited Edition と Performance Edition	Developer Edition
メールテンプレート:最大サイズ	テキストメールテンプレート: 384 KB	- テキスト、HTML、およびカスタム HTML テンプレート: 384 KB - Visualforce テンプレート: 1 MB					
メールサービス: Salesforce で処理する 1 日あたりのメールメッセージの最大数	N/A			ユーザライセンス数 × 1,000、最大数 1,000,000			
メールサービス:メールメッセージの最大サイズ(メールヘッダー、本文、添付ファイル、エンコード)				25 MB ¹			
拡張差し込み印刷:最大レコード数	1,000						
拡張差し込み印刷:選択したテンプレートの最大合計サイズ	1 MB						
Salesforce に送信される受信メール	- メール本文切り捨てサイズ: 32 KB - 受信したメールごとに作成されるメール活動の最大数: 50 - 添付ファイルの最大合計サイズ: 25 MB¹						
差し込み項目: Case.Email_Thread	なし		- 最大メール数: 200 - メール本文切り捨てサイズ: 32 KB				
オンデマンドメール-to-ケース:Salesforce で処理する 1 日あたりのメールメッセージの最大数 (メールサービスの制限に対してカウント)	N/A			ユーザライセンス数 × 1,000、最大数 1,000,000			

機能	Personal Edition	Contact Manager	Group Edition	Professional Edition	Enterprise Edition	Unlimited Edition と Performance Edition	Developer Edition
オンデマンドメール-to-ケース:メールの最大サイズ(メールヘッダー、本文、添付ファイル、エンコード)				25 MB ¹			

¹ メールサービスのメールメッセージの最大数は、言語および文字セットによって異なります。メールメッセージのサイズには、メールヘッダー、本文、添付ファイル、エンコードが含まれます。そのため、添付ファイルが 25 MB のメールは、ヘッダー、本文、エンコードを考慮すると、メールメッセージのサイズ制限 25 MB を超える可能性があります。

関連トピック:

[一括メール送信の制限](#)

[メールアラートの日次制限](#)

メールアラートの日次制限

メールアラートから送信されるメールの 1 日の制限は、1 組織につき標準 Salesforce ライセンスあたり 1,000 件です。ただし無料の Developer Edition およびトライアル組織は例外で、1 日のワークフローメールの制限は 15 件になります。組織全体での制限は 2,000,000 件です。この制限は、ワークフロールール、承認プロセス、フローまたは REST API でメールアラートから送信されるメールに適用されます。

組織が日次ワークフローメールの制限に到達すると、次のようになります。

- ワークフローキュー内に残っており、その日に送信されないメールは破棄されます。Salesforce ではこれらのメールを後で再送信しません。
- アクションを伴うワークフロールールとメールアラートが起動された場合、メールアクションのみがブロックされます。
- 最終承認、最終却下、承認、却下、メール取り消しアクションはブロックされます。
- エラーメッセージがデバッグログに追加されます。

次の項目は、ワークフローメール制限にはカウントされません。

- 承認通知メール
- ToDo 割り当て通知
- リードの割り当てルール通知
- ケースの割り当てルール通知
- ケースのエスカレーションルール通知
- Force.com サイトの利用状況のアラート

制限は、GMTの午前0時に開始および終了する24時間の活動に基づいています。ユーザライセンスを追加または削除すると、制限数の合計がすぐに調整されます。メールアラートをグループに送信すると、そのグループのすべての受信者が1日あたりのワークフローメール制限としてカウントされます。

ワークフローメールアラートが特定の制限に近づいている場合や制限を超えた場合、Salesforceは警告メールをデフォルトのワークフローユーザに送信します。デフォルトのワークフローユーザが設定されていない場合は、有効なシステム管理者に送信します。

状況	Salesforce から送信される警告メール	警告メールの内容
1件のメールの受信者数の制限を超えているため、メールアラートが送信されない	未送信メールアラートごとに1件の警告メール	未送信メールアラートのコンテンツおよび受信者
組織の1日あたりのメール制限の90%に達している	1件の警告メール	制限および組織の利用状況
組織の1日あたりのワークフローメール制限の90%に達している	1件の警告メール	制限および組織の利用状況
組織の1日あたりのメール制限に達しているため、メールアラートが送信されない	制限を超えたメールアラートの試行100件ごとに1件の警告メール	制限および組織の利用状況
組織の1日あたりのワークフローメール制限に達しているため、メールアラートが送信されない	制限を超えたメールアラートの試行100件ごとに1件の警告メール	制限および組織の利用状況

一括メール送信の制限

エディション別の一括メール送信の制限です。

グリニッジ標準時 (GMT) に基づいて、1 組織あたり 1 日に最大 5,000 個の外部メールアドレスに一括メール送信できます。

一括メール送信には次の追加制限が適用されます。

- 単一メールおよび一括メールの制限では、アドレスが一意であるかどうかは考慮されません。たとえば、メールに johndoe@example.com が 10 回含まれている場合、制限に対して 10 とカウントされます。
- ポータルユーザを含め、組織の内部ユーザに送信できるメールには制限はありません。
- 一括メールは、取引先責任者、個人取引先、リード、および組織の内部ユーザにのみ送信できます。
- Developer Edition 組織とトライアルで Salesforce を評価中の組織では、1 日あたり 10 個を超える外部メールアドレスに一括メール送信できません。この低い制限は、組織が Winter'12 リリースより前に作成されており、一括メール送信がすでに高い制限で有効になっている場合は適用されません。また、組織は 1 日あたり最大 15 個のメールアドレスに単一メールを送信できます。
- Visualforce メールテンプレートを使用して一括メールを送信することはできません。

Salesforce ナレッジの制限

エディション別の Salesforce ナレッジの制限です。

Salesforce ナレッジは、コンテンツを作成および管理するための知識ベースです。コミュニティで Salesforce ナレッジが有効になっている場合、顧客およびパートナーは記事にアクセスできます。

 **メモ:** 次の制限はデフォルトの制限です。一部の制限は拡大できます。制限を緩和するには、Salesforce にお問い合わせください。

Salesforce ナレッジの制限	Classic ナレッジの詳細	Lightning Knowledge の詳細
最大記事数	50,000 個の記事	50,000 個の記事
最大記事タイプ	100 個の記事タイプ	なし
記事タイプあたりの最大カスタム項目数	Enterprise Edition、Developer Edition、および Unlimited Edition: 記事タイプあたり 500 個のカスタム項目 Performance Edition: 記事タイプあたり 800 個のカスタム項目	なし
最大ファイル項目	5 個のファイル項目	なし
最大ファイルサイズ	ファイル項目は添付ファイルとしてカウントされます。最大 25 MB です。	ファイルは最大 25 MB です。
最大リッチテキストエリアサイズ	131072 文字	131072 文字
記事のすべてのリッチテキストエリア項目の合計サイズ	1638400 文字	1638400 文字
リッチテキストエリア項目での一意の最大記事参照 (リンク) 数	1つのリッチテキスト項目で、異なる Salesforce ナレッジ記事に最大 100 個のリンクを設定できます。	1つのリッチテキスト項目で、異なる Salesforce ナレッジ記事に最大 100 個のリンクを設定できます。
記事履歴の追跡	記事イベントは、最長 18 か月間追跡されます。	記事イベントは、最長 18 か月間追跡されます。
最大サポート言語数	16 個のサポート言語	なし
記事のインポート	インポート .zip ファイルは次の要件を満たす必要があります。 .csv ファイルと .properties ファイルをそれぞれ 1 つのみ含めることができます。	なし

Salesforce ナレッジの制限

Classic ナレッジの詳細

Lightning Knowledge の詳細

- .csv ファイルと .properties ファイルがルートディレクトリに配置されている必要があります。
- 圧縮プロセスでフォルダとサブフォルダの構造を維持する必要があります。
- .zip ファイル名に特殊文字は使用できません。
- .zip ファイルは 20 MB を、zip ファイル内の各非圧縮ファイルは 10 MB を超えることはできません。
- ヘッダー行を含め .csv ファイルに 10,000 を超える行を含めることはできません。したがって、最大 9,999 個の記事と翻訳を含めることができます。
- .CSV ファイルの行が 400,000 文字を超えることはできません。
- .CSV ファイルのセルが 32 KB を超えることはできません。
- .CSV ファイルの各記事に 50 以上の翻訳を含めることはできません。

最大データカテゴリグループ数および有効なデータカテゴリグループ

カテゴリグループ 5 つ、一度に有効にできるグループ 3 つ

カテゴリグループ 5 つ、一度に有効にできるグループ 3 つ

データカテゴリグループあたりの最大カテゴリ数

1 つのデータカテゴリグループに 100 個のカテゴリ

1 つのデータカテゴリグループに 100 個のカテゴリ

データカテゴリグループ階層あたりの最大レベル数

1 つのデータカテゴリグループ階層に 5 個のレベル

1 つのデータカテゴリグループ階層に 5 個のレベル

記事に割り当てられたデータカテゴリグループの最大データカテゴリ数

記事に割り当てられたデータカテゴリグループの 8 個のデータカテゴリ

記事に割り当てられたデータカテゴリグループの 8 個のデータカテゴリ

昇格済み検索語の最大数

組織で最大 2,000 個の昇格済み用語を作成できます。

なし

ナレッジ記事検索の最大文字数

100 文字

100 文字

ユーザが 100 文字を超える検索を行うと、結果は返されますが、最初

ユーザが 100 文字を超える検索を行うと、結果は返されますが、最初

Salesforce ナレッジの制限	Classic ナレッジの詳細	Lightning Knowledge の詳細
	の100文字のみに関する結果になります。	の100文字のみに関する結果になります。
ナレッジ記事の推奨に使用するサポート対象オブジェクトレコードからの最大文字数	255 文字 システム管理者が、記事の推奨にどの項目を使用するかを選択します。	255 文字 システム管理者が、記事の推奨にどの項目を使用するかを選択します。

項目の制限事項

暗号化項目、差し込み項目、数式項目の制限事項です。

積み上げ集計項目は、取引を開始したリードのリード項目の対応付けには使用できません。

このセクションの内容:

暗号化された項目の制限事項

項目を暗号化する場合、条件および Visualforce ページに関する操作に制限事項があります。

リッチテキストエリア項目の制限事項

モバイルアプリケーションは、ロングテキストエリア項目のようなリッチテキストエリアを処理しますが、HTML 形式のコンテンツまたは画像はサポートしていません。モバイルアプリケーションは、1,000 文字でリッチテキストエリア項目を切り捨てます。これには HTML マークアップも含まれます。システム管理者は、モバイルページレイアウトからリッチテキストエリア項目を削除することを検討する必要があります。モバイルユーザが 1,000 文字を超える既存のエントリを含むリッチテキストエリア項目を編集する場合、モバイルアプリケーションは項目内のテキストを切り捨てます。

参照検索条件の制限事項

ルックアップ検索条件は、参照項目、主従関係項目、階層関係項目の有効な値とルックアップダイアログ結果を制限するシステム管理者設定です。

暗号化された項目の制限事項

項目を暗号化する場合、条件および Visualforce ページに関する操作に制限事項があります。

従来の暗号化

従来の暗号化を使用して暗号化された項目には、次の制限事項が適用されます。

- 暗号化項目は、リストビュー、レポート、積み上げ集計項目、およびルール条件などの条件に使用することはできません。
- メールテンプレートに暗号化項目を使用することはできますが、その値は「暗号化されたデータの参照」権限の有無に関係なく常にマスクされます。

- Visualforce ページでの暗号化項目の表示をサポートしているのは、<apex:outputField> コンポーネントのみです。

リッチテキストエリア項目の制限事項

モバイルアプリケーションは、ロングテキストエリア項目のようなリッチテキストエリアを処理しますが、HTML 形式のコンテンツまたは画像はサポートしていません。モバイルアプリケーションは、1,000 文字でリッチテキストエリア項目を切り捨てます。これには HTML マークアップも含まれます。システム管理者は、モバイルページレイアウトからリッチテキストエリア項目を削除することを検討する必要があります。モバイルユーザが 1,000 文字を超える既存のエントリを含むリッチテキストエリア項目を編集する場合、モバイルアプリケーションは項目内のテキストを切り捨てます。

参照検索条件の制限事項

ルックアップ検索条件は、参照項目、主従関係項目、階層関係項目の有効な値とルックアップダイアログ結果を制限するシステム管理者設定です。

ルックアップ検索条件には次の制限事項が適用されます。

- ルックアップ検索条件では次の項目種別を参照できません。
 - 活動のリレーション項目
 - 「作成者」および「更新者」などの、常に参照のみのシステム項目
 - 「ケース所有者」および「リード 所有者」などの、キューをサポートするリレーション項目
- 各オブジェクトは、必須なルックアップ検索条件を 5 個まで使用できます。省略可能な参照項目の数に制限はありません。オブジェクトの必須項目の上限に達した場合、代わりに省略可能な項目を作成し、ユーザ保存時に入力規則を使用してビジネスルールを適用します。
- ルックアップ検索条件は、外部参照関係項目では使用できません。
- 通貨項目でのルックアップ検索条件は、通貨を換算しません。たとえば、組織でマルチ通貨を使用してルックアップ検索条件が「期待収益 > 100000」の場合、通貨に関係なく、ルックアップには「期待収益」項目の値が 100,000 より大きいすべてのレコードが表示されます。
- ルックアップ検索条件には、「今日」または「今月」などの、特殊な日付値は使用できません。
- 有効なルックアップ検索条件で参照される項目は削除できません。
- 有効なルックアップ検索条件で参照される項目のデータ型は変更できません。
- ルックアップ検索条件では、ソースオブジェクトの次の項目種別を参照できません。
 - 自動採番
 - 暗号化
 - 数式
 - ロングテキストエリア
 - 複数選択リスト
 - 積み上げ集計
 - テキスト
 - テキストエリア

- URL

- ルックアップオートコンプリートは、追加のドロップダウンリストでのユーザールックアップでは機能しません。これは主に、パートナーポータルまたはカスタマーポータルのいずれかを設定した組織のための機能です。
- 拡張リストビューでは、連動ルックアップ検索条件で参照される項目を変更できません。
- ルックアップ検索条件では、所有者の一括変更はサポートされていません。ルックアップ検索条件で「所有者」項目を参照している場合、所有者の一括変更を実行しても正しい値にはなりません。また、この不正な値はレコードを保存するまで検出されません。
- ルックアップ検索条件でサポートされないグローバル差し込み項目を数式で参照している場合、ルックアップ検索条件は数式を参照できません。
- 「取引先名」でのルックアップ検索条件は、法人取引先에만適用されます。個人取引先には適用されません。たとえば、ルックアップ検索条件が「取引先名」 does not contain book の場合、John's Bookstore のように名前に「book」が含まれる法人取引先は無効ですが、JohnBookerのように名前に「book」が含まれる個人取引先は有効で、「取引先」項目のルックアップダイアログに表示されます。個人取引先の名前で絞り込む場合は、代わりに「名」または「姓」を使用します。
- Salesforce では、リストビューのインライン編集は次の場合にサポートされません。
 - 連動ルックアップで参照されているソースオブジェクトの項目。
 - 連動ルックアップを含む項目。

ファイルとディスク使用制限

Salesforce Files、CRM コンテンツ、Chatter、ストレージ割り当ての制限です。

このセクションの内容:

[Salesforce Files Sync の制限](#)

ストレージ、ファイルサイズ、ファイルの同期の制限です。

[Salesforce Files と Salesforce CRM Content の制限](#)

エディション別の Salesforce Files と Salesforce CRM Content の制限です。

[Chatter のファイルの制限](#)

Chatter 投稿またはコメントへの添付ファイルの制限です。

[データストレージとファイルストレージの制限](#)

Salesforce エディションおよび組織内の標準ライセンスユーザ数別のストレージ割り当ての制限です。

Salesforce Files Sync の制限

ストレージ、ファイルサイズ、ファイルの同期の制限です。

機能	制限
組織の共有ストレージ	ストレージは、購入した Salesforce ライセンス数に基づいています。追加ストレージを購入できます。詳細は、「 データストレージとファイルストレージの制限 」を参照してください。
同期済みファイルの最大数	ユーザは最大 10,000 個のファイルを同期できます。
同期済みフォルダの最大数	500 フォルダ
ファイルサイズ	- Web インターフェースによるアップロード時: 2 GB - Salesforce Files Sync デスクトップクライアントによるアップロード時: 2 GB (またはプロキシ使用時は 500 MB) - モバイルデバイスによるアップロード時: 100 MB
ファイルあたりのバージョンの最大数	2,048
同じファイルを同時に同期できるユーザの最大数	1,000 ユーザ
Connect API コールの最大数	Salesforce Files Sync デスクトップクライアントからの接続アプリケーションごとに 1 ユーザにつき 1 時間あたり 10,000 件

Salesforce Files と Salesforce CRM Content の制限

エディション別の Salesforce Files と Salesforce CRM Content の制限です。

Salesforce Files と Salesforce CRM Content には、Microsoft® PowerPoint プレゼンテーションから、オーディオファイル、動画ファイル、Web ページ、および Google® ドキュメントまで、あらゆる種類のファイルを含めることができます。次の表に、ファイルとコンテンツの制限を示します。

機能	詳細
コンテンツ配信: 直近 24 時間あたりのデフォルトの配信帯域幅	20 GB
コンテンツ配信: 直近 24 時間あたりのデフォルトの配信参照カウント数	20,000
コンテンツ配信: オンライン参照の最大ファイルサイズ	25 MB
コンテンツ: 最大ファイルサイズ	2 GB - Chatter REST API によるアップロード時: 2 GB (ヘッダーを含む) - REST API によるアップロード時: 2 GB (ヘッダーを含む) - SOAP API によるアップロード時: 38 MB - BULK API によるアップロード時: 10 MB - Google ドキュメント: 10 MB

機能	詳細
	Visualforce によるアップロード時: 10 MB
コンテンツ: 最大ライブラリ数	2,000
コンテンツ: 最大コンテンツドキュメント数	30,000,000
コンテンツ: 24時間あたりのコンテンツドキュメントおよびバージョンの最大数(調整可能)	200,000 (Developer Edition では 2,500)
コンテンツパック: 最大ファイル数	50 (Personal Edition ではなし)
ドキュメント: カスタムアプリケーションロゴの最大サイズ	20 KB
ドキュメント: アップロードするドキュメントの最大サイズ	5 MB
ドキュメント: ファイル名の最大長(ファイル拡張子名を含む)	255 文字

Salesforce CRM Content 検索の制限

検索では、複数のファイルの種類がサポートされ、ファイルサイズに制限があります。ファイルが最大サイズを超える場合、そのファイル内のテキストは検索されませんが、ファイルの著者名、タグ、ファイル拡張子、およびカスタム項目は検索されます。

ファイルの種類	ファイル拡張子	検索の最大ファイルサイズ
HTML	.htm、.html、.xhtml	5 MB
PDF	.pdf	25 MB
PPT	.ppt、.pptx、.pptm	25 MB
RTF	.rtf	5 MB
Text	.css、.css、.ini、.java、.log、.sql、.txt	5 MB
Word	.doc、.docx、.docm	25 MB
XLS	.xls、.xlsx、.xlsm	5 MB
XML	.xml	5 MB

関連トピック:

[検索の制限](#)

[Chatter のファイル検索の制限](#)

Chatter のファイルの制限

Chatter 投稿またはコメントへの添付ファイルの制限です。

ファイル共有の制限

ファイルは最大 100 回まで共有できます。これには、人およびグループと共有するファイル、およびリンクで共有するファイルが含まれます。ファイルの非公開での共有が最大共有回数の 100 に近くなった場合は、ファイルをフィードに投稿して公開することを検討します。

ファイルサイズの制限

Salesforce のファイルの最大ファイルサイズ制限は次のとおりです。

機能	詳細
[添付ファイル] 関連リスト	- 添付ファイル: 25 MB - フィードの添付ファイル: 2 GB
[ドキュメント] タブ	5 MB - カスタムアプリケーションロゴ: 20 KB
Salesforce CRM Content	2 GB - Chatter REST API によるアップロード時: 2 GB (ヘッダーを含む) - REST API によるアップロード時: 2 GB (ヘッダーを含む) - SOAP API によるアップロード時: 38 MB - BULK API によるアップロード時: 10 MB - Google ドキュメント: 10 MB - Visualforce によるアップロード時: 10 MB
Salesforce ファイル	2 GB
Salesforce ナレッジ	添付ファイル: 5 MB

データストレージとファイルストレージの制限

Salesforce エディションおよび組織内の標準ライセンスユーザ数別のストレージ割り当ての制限です。

ストレージ容量

ストレージは、次の 2 つのカテゴリに分類されます。ファイルストレージには、添付ファイル、[ファイル] ホーム、Salesforce CRM Content、Chatter ファイル(ユーザの写真を含む)、[ドキュメント] タブ、ナレッジ記事のカスタ

ムファイル項目、および Site.com のアセット内のファイルが含まれます。データストレージには、次の情報が含まれます。

- 取引先
- 記事タイプ (形式: 「記事タイプ名」)
- 記事タイプ翻訳 (形式: 「記事タイプ名」 バージョン)
- キャンペーン
- キャンペーンメンバー
- ケース
- ケースチーム
- 取引先責任者
- 契約
- カスタムオブジェクト
- メールメッセージ
- 行動
- 予測項目
- Google ドキュメント
- アイデア
- リード
- メモ
- 商談
- 商談分割
- 注文
- 見積
- 見積テンプレートのリッチテキストデータ
- ソリューション
- タグ: 固有タグ
- ToDo

データストレージ

データストレージの場合、Contact Manager Edition、Group Edition、Professional Edition、Enterprise Edition、Performance Edition および Unlimited Edition では、1 GB またはユーザあたりの制限のいずれか大きい方が割り当てられます。たとえば、10 人のユーザがいる Professional Edition 組織の場合は、ユーザ数 $10 \times$ ユーザあたり 20 MB = 200 MB は最小量 1 GB よりも少ないため、1 GB が割り当てられます。100 人のユーザがいる Professional Edition 組織の場合は、ユーザ数 $100 \times 20 \text{ MB} = 2,000 \text{ MB}$ であるため、最小量 1 GB よりも多くの容量が割り当てられます。

ファイルストレージ

Contact Manager Edition、Group Edition、Professional Edition、Enterprise Edition、Performance Edition、および Unlimited Edition では、組織ごとに 10 GB のファイルストレージが割り当てられます。

組織には、標準ユーザライセンスの数に基づいて追加のファイルストレージが割り当てられます。Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition では、ユーザライセンスごとに 2 GB のファイルストレージが組織に

割り当てられます。Contact Manager Edition、Group Edition、Professional Edition の組織には標準ユーザライセンスあたり 612 MB が割り当てられます。これはユーザライセンスあたり 100 MB と Salesforce CRM Content 機能ライセンスに対するライセンスあたり 512 MB を合わせたものです。ユーザ数が 10 未満の組織には、ユーザライセンスあたり 100 MB ではなく、合計 1 GB のユーザ単位のファイルストレージが割り当てられます。

 **メモ:** Salesforce CRM Content が有効であるかどうかにかかわらず、各 Salesforce CRM Content 機能ライセンスに追加のファイルストレージ 512 MB が割り当てられます。

ファイルストレージとデータストレージは同時に計算されないため、大量のレコードやファイルをインポートまたは追加する場合、組織のディスク使用量の変化はすぐには反映されません。

下の表の最小値は、Salesforce および Salesforce Platform ユーザライセンスに適用されます。カスタムユーザライセンスを使用している組織の場合、正確なストレージ容量については、Salesforce にお問い合わせください。ユーザライセンスについての説明は、「ユーザライセンス」を参照してください。

Salesforce Edition	組織あたりの最小データストレージ	ユーザライセンスあたりのデータストレージ割り当て	組織あたりのファイルストレージ割り当て	ユーザライセンスあたりのファイルストレージ割り当て
Contact Manager				
Group		20 MB		612 MB
Professional	1 GB		10 GB	
Enterprise				
Performance		120 MB		2 GB
Unlimited				
Developer	5 MB			
Personal	20 MB (約 10,000 レコード)	なし	20 MB	なし

Force.com サイトのページビューの制限

ページビューとしてカウントされる要求の制限です。

次の要求はページビューとしてカウントされます。

要求内容	URL の例
Force.com ドメイン	http://mycompany.force.com
カスタム Web アドレス	http://mycompany.com
サイトと関連付けられている任意のページ	http://mycompany.force.com/mypage
[認証が必要] エラーページ	http://mycompany.force.com/Unauthorized

要求内容	URL の例
JavaScript Remoting などの AJAX 要求 (例: RemoteAction)<apexactionFunction><apexactionPoller>	なし

次の要求はページビューとしてカウントされません。

要求内容	URL の例
Salesforce 画像	http://mycompany.force.com/img/force_logo_w09.gif
静的リソース	http://mycompany.force.com/resource/1233771498000/background
Robots.txt	http://mycompany.force.com/robots.txt
お気に入りアイコン	http://mycompany.force.com/favicon.ico
添付ファイルとドキュメント	なし
[制限数を超えました] や [メンテナンス] など、[認証が必要] 以外のエラーページ	http://mycompany.force.com/BandwidthExceeded
HTML 項目に含まれる画像	http://mycompany.force.com/servlet/rtaImage
カスタムファイル項目	http://mycompany.force.com/servlet/fileField

[制限数を超えました]、[メンテナンス]、[ページが見つかりません]、および [無効なホーム] と指定されたページは、ページビューの制限および帯域幅の制限にはカウントされません。静的リソースを使用して、これらのページにブランド情報を表示できますが、次の制限が適用されます。

- 静的リソースは、サイズが 50 KB 以内であること。
- 静的リソースは、スタイルシート (CSS)、画像ファイル、または JavaScript ファイルであること。
- これらのページには、Apex コントローラは使用できない。
- これらのページから SOQL 操作や DML 操作は実行できない。

Force.com サイトの請求の制限

Force.com サイトに関連する制限および請求に使用される用語です。

次の用語は、Force.com サイトの制限および請求に使用されます。

- ページビューは、サイトの発信元サーバまたはキャッシュサーバのいずれかから発信されたページ数として算出されます。
- 「帯域幅」は、サイトの発信元サーバおよびキャッシュサーバの両方から発信および受信されたメガバイト数 (MB) として算出されます。
- 「サービス要求時間」は、サイトのページ生成に必要なサーバ時間の合計 (単位: 分) として計算されます。
- 「直近 24 時間」は、現在の時刻の直前の 24 時間を示します。
- 「発信元サーバ」は、サイトをホストする Web サーバを示します。

- 「キャッシュサーバ」は、キャッシュされたサイトページを発信する CDN サーバを示します。
- 「現在の期間」は、組織で特定のページビュー数を利用できる現在のカレンダー月を示します。

Salesforce では、次の制限が Force.com サイトの月間ページビューに適用されます。

- 請求情報は、組織が購入した月間ページビューの数に基づきます。このページビュー制限は、組織の全サイトで累積されています。
- 組織が月間ページビュー制限の110%に達した場合、サイト管理者と請求管理者にメール通知が送信されます。
- 組織で4か月連続してページビュー制限の110%を超えた場合、次のカレンダー月が始まるまで、またはページビューを追加購入するまで、サイトが無効になります。メール通知が、サイト管理者と請求管理者、および関連するアカウントエグゼクティブに送信されます。
- 指定されたカレンダー月で、組織がページビュー制限の300%に達した場合、次のカレンダー月が始まるまで、またはページビューを追加購入するまで、サイトが無効になります。メール通知が、サイト管理者と請求管理者、および関連するアカウントエグゼクティブに送信されます。

Sandbox と Sandbox ストレージの全般的な制限

Sandbox 環境の制限です。

Sandbox は別の環境にある組織のコピーであり、テストやトレーニングなどさまざまな目的に使用できます。Sandbox は Salesforce 本番組織から完全に独立しているため、Sandbox で実行する操作が Salesforce 本番組織に影響することはありません。

Sandbox には次の制限が適用されます。

- Full Sandbox は、作成または最終更新から 29 日経過すると更新できます。29 日以内に Full Sandbox を削除した場合、置き換えるまでに、最終更新日または作成日から 29 日間待機する必要があります。
- Partial Copy Sandbox は、作成または最終更新から 5 日経過すると更新できます。5 日以内に Partial Copy Sandbox を削除した場合、置き換えるまでに、最終更新日または作成日から 5 日間待機する必要があります。
- Developer または Developer Pro Sandbox は、1 日に 1 回更新できます。
- Enterprise Edition には、25 個の Developer Sandbox と 1 個の Partial Copy Sandbox のライセンスが含まれています。
- Performance Edition には、1 個の Full Sandbox、5 個の Developer Pro Sandbox、100 個の Developer Sandbox、1 個の Partial Copy Sandbox のライセンスが含まれています。
- Unlimited Edition には、1 個の Full Sandbox、5 個の Developer Pro Sandbox、100 個の Developer Sandbox、1 個の Partial Copy Sandbox のライセンスが含まれています。
- Professional Edition には、10 個の Developer Sandbox のライセンスが含まれています。(変更セットは使用できません)。
- さらに多くの Sandbox のライセンスが必要な場合は、Salesforce に連絡して、組織で使用する Sandbox を注文してください。

Sandbox ストレージには次の制限が適用されます。

- Partial Copy Sandbox には、5 GB のファイルストレージ制限と 5 GB のデータストレージ制限があります。
- Developer Pro Sandbox には、1 GB のファイルストレージ制限と 1 GB のデータストレージ制限があります。
- Developer Sandbox には、200 MB のファイルストレージ制限と 200 MB のデータストレージ制限があります。

- Full Sandbox のディスク使用制限は、本番組織の制限と同じです。
- Sandbox は、ディスク使用制限に達してもメール通知を送信しません。ただし、Sandbox のディスク使用制限に達すると、Sandbox に新しいデータを保存することはできません。ディスク使用制限を確認するには、[設定] から [クイック検索] ボックスに「ディスク使用量」と入力し、Sandbox の [組織のディスク使用量] を選択します。

パスワードポリシーの制限

ユーザパスワードの数値と使用の制限です。

パスワードおよびログインのさまざまなポリシーを設定して、組織のセキュリティを確保できます。

 **メモ:** ユーザパスワードは 16,000 バイトを超えてはいけません。

ログイン数は 1 ユーザにつき 1 時間あたり 3,600 に制限されます。この制限は、Summer '08 後に作成された組織に適用されます。

サイトのエディションの制限

エディション別の、サイト数、帯域幅、サービス要求時間、最大ページビューの制限です。

Site.com は、データ主導の動的な Web ページを作成および管理し、コンテンツの編集をリアルタイムで行う Web コンテンツ管理システム (CMS) です。

次の表に、異なる Salesforce エディションでのサイトの制限を示します。

エディション	最大サイト数	帯域幅制限 (直近の 24 時間/サイトあたり)	サービス要求時間 (直近の 24 時間/サイトあたり)	最大ページビュー
Developer Edition	1	500 MB	10 分	なし
Enterprise Edition	25	Sandbox 1 GB 本番 40 GB	Sandbox 30 分 本番 60 時間	500,000
Unlimited Edition	25	Sandbox 1 GB 本番 40 GB	Sandbox 30 分 本番 60 時間	1,000,000
Performance Edition				

関連トピック:

[Site.com のインポートの制限](#)

[Force.com サイトのページビューの制限](#)

[Force.com サイトの請求の制限](#)

Site.com のインポートの制限

サイトおよびファイルのインポートの制限です。

インポートできるサイトの最大サイズは 2 GB です。 .zip ファイルをインポートして解凍しない場合、インポートできる最大ファイルサイズは 50 MB です。 .zip ファイルを使用する場合、インポート処理中に [ファイルを解凍] を選択すると、最大 200 MB の .zip ファイルをインポートできます。

Web 要求の制限

Web 要求の同時使用の制限です。

Salesforce のすべてのユーザに対してリソースを確保できるように、1つの組織で同時に送信できる、長時間の処理を要する Web 要求数に制限が適用されます。 Salesforce では、組織にログインしているすべてのユーザが同時に発行する要求数を監視し、その数を最大制限と比較します。こうすることで、同時要求数を最大制限未満に保つことができます。この制限によって、リソースがすべての組織で均等に使用され、1つの組織による過剰使用を回避します。

組織内のユーザが発行する要求数が非常に多い場合、他のいずれかの要求が終了するまで自分の処理の実行を待つ必要があります。たとえば、自分の組織に 100,000 人のユーザがいるとします。各ユーザは、9:00 AM に 200,000 件のレコードを含むレポートを要求します。この場合、Salesforce は、同時要求が最大数に達するまで全ユーザのレポートを実行します。最大数に達した時点で、Salesforce では一部のレポート処理が完了するまで追加要求は却下されます。

同様の制限が API から発行される要求にも適用されます。

コラボレーションの制限

このセクションの内容:

Chatter での承認の制限

代理承認者、承認投稿、およびサイトまたはポータルユーザの承認の制限です。

Chatter Plus の制限

Chatter Plus (Chatter Only と呼ばれる) の機能の制限です。

フィード追跡の制限

オブジェクト、項目、およびトピックの追跡に関する制限です。

Chatter の全般的な制限

エディション、ブラウザ制限、メンションの制限による Chatter 機能の制限です。

フィードでのリストビューの制限

レコードフィードでのリストビューの制限です。

Chatter のファイル検索の制限

Chatter でのファイルの種類およびファイルサイズによる検索の制限です。

Chatter でのユーザ共有の制限

Salesforce システム管理者は、内部ユーザまたは外部ユーザを組織内の別のユーザから表示または非表示にするようにユーザ共有を設定できます。

Chatter での承認の制限

代理承認者、承認投稿、およびサイトまたはポータルユーザの承認の制限です。

- [Chatter での承認] は代理承認者またはキューをサポートしていません。
- 投稿からの承認申請を取り消したり、再割り当てしたりすることはできません。代わりに、承認レコードからこれらのアクションを実行します。
- サイトまたはポータルユーザからの承認申請はサポートされません。

Chatter Plus の制限

Chatter Plus (Chatter Only と呼ばれる) の機能の制限です。

Chatter Plus (Chatter Only と呼ばれる) は、Salesforce ライセンスは所有しておらず、Chatter の他に一部の Salesforce オブジェクトにアクセスする必要がある Performance Edition、Unlimited Edition、Enterprise Edition、および Professional Edition のユーザを対象にしています。

Chatter ユーザは、Chatter の標準のユーザ、プロフィール、グループ、およびファイルにアクセスでき、さらに次の操作を行えます。

- Salesforce の取引先と取引先責任者を参照する
- Salesforce CRM Content、アイデア、およびアンサーを使用する
- ダッシュボードとレポートにアクセスする
- ワークフローを使用し、承認する
- カレンダーを使用して活動を作成および追跡する
- 最大 10 個のカスタムオブジェクトを表示および変更する
- レコードをグループに追加する

 **メモ:** Chatter 限定ユーザプロフィールでアクセス可能な標準 Salesforce オブジェクトのタブは、これらのユーザに対してデフォルトで非表示になっているため、タブを表示する必要があります。

Professional Edition の組織は、これらを実行するために [プロフィール] を有効にしておく必要があります。詳細は、Salesforce の担当者にお問い合わせください。

Chatter Plus 機能	制限
組織の Chatter Plus ライセンス	制限なし
Chatter Plus ユーザあたりのデータストレージ	20 MB
Chatter Plus ユーザあたりのファイルストレージ (Professional Edition)	612 MB
Chatter Plus ユーザあたりのファイルストレージ (Enterprise Edition、Performance Edition、Unlimited Edition)	2 GB

フィード追跡の制限

オブジェクト、項目、およびトピックの追跡に関する制限です。

- 個人取引先のフィード追跡が有効になっている場合、ユーザは、取引先責任者項目ではなく、取引先項目をフォローして更新を表示できます。
- 行動のフィード追跡には、要請済みミーティングは含まれません。要請済みミーティングを確認して、行動になってから、フィードに含めることができます。
- ユーザは Chatter フィードで活動またはナレッジ記事をフォローできますが、活動およびナレッジ記事のリストビューの [アクション] 列にある  [フォロー] ボタンは使用できません。
- トピックのフィード追跡を無効にすると、ユーザは新しいトピックをフォローできなくなりますが、フィード追跡が有効だったときにフォローしていたトピックは引き続きフォローできます。このようなトピックは、フォローできるユーザ、トピックおよびレコードの最大数に対してカウントされます。フィード追跡が無効になった後でトピックのフォローを停止するには、Chatter REST API を使用します。

外部オブジェクトに関するフィード追跡の制限

- 項目履歴管理は、外部オブジェクトでは使用できません。
- レコードフィードは、データ量の非常に多い外部データソースに対応付けられている Salesforce Connect 外部オブジェクトには使用できません。

Chatter の全般的な制限

エディション、ブラウザ制限、メンションの制限による Chatter 機能の制限です。

機能ごとの Chatter の制限

これらの制限は変更される場合があります。詳細は、Salesforce にお問い合わせください。

機能	制限
グループ	
ユーザが参加可能なグループ	300 ¹
組織内のグループ	30,000 ¹
グループ内のメンバー	制限なし
グループの情報項目の文字数	4,000
メールでグループに投稿する場合のメールの最大サイズ (テキストと添付ファイルを含む)	25 MB
メールでグループに投稿する場合に含めることのできる添付ファイル数	25
フィード	
1つの投稿またはコメント内のメンション	25
メンション検索文字列の文字数	ユーザの姓と名 (合計) またはグループ名は 500 文字

機能	制限
1つの投稿またはコメント内の文字数	10,000
投稿に対していいね!と言ったか、コメントした後 に送信されるメール通知の件数	10
ブックマーク	制限なし
お気に入り	50
フォローできる人、トピック、およびレコード	500 ²
任意の時点でフィードに表示できる投稿の最大数	500件の最新の投稿。この制限は、プロ ファイル、グループ、レコードフィー ドには適用されません。
ファイル	
ファイル添付サイズ	2 GB
ファイルを共有できる回数	100
人とプロフィール	
プロフィール写真のサイズ	8 MB
チャットに追加できるユーザ数	10
チャットの[私のお気に入り]に追加できるユーザ数	100
Chatter メッセージの文字数	10,000
スキル	
ユーザに割り当てられるスキル数	100
スキル名の文字数	99
トピック	
1つの投稿でのトピック数	10
単一レコードのトピック	100
トピック名の文字数	99

¹アーカイブ済みグループを除く、すべてのグループがこの制限にカウントされます。たとえば、300グループ (そのうち 10 グループはアーカイブ済み) のメンバーになっている場合、さらに 10 グループに参加できます。

²合計で最大500の人、トピック、およびレコードをフォローできます。自分が何件の項目をフォローしているかを確認するには、プロフィールの[フォローしている人]リストを表示します。

Chatterでのユーザによる投稿とコメントは、顧客の該当する組織がプロビジョニングされている間は常に保持されます。salesforce.com は次の制限を適用する権利を有します。

- システムで生成されるフィード更新追跡数。現在追跡されているフィード更新のうち、46 日以上前のもので、いいね!もコメントもない更新は、自動的に削除されます。そのフィード更新追跡はフィードに表示されなくなります。ただし、項目追跡の監査が有効な場合、その項目の監査履歴は引き続き使用できます。
- 1 組織が 1 時間あたりに送信できるメール通知の数。

Chatter のブラウザ制限

一部のサードパーティ Web ブラウザプラグインと拡張は、Chatter の機能に干渉する可能性があります。Chatter が正常に機能しなかったり、整合性のない動作をしたりする場合は、Web ブラウザのプラグインと拡張を無効にしてから、もう一度試してみてください。

Chatter メンションの制限

アーカイブされたグループ、リストに記載しないグループ、顧客グループ、自分がメンバーではない非公開グループにはメンションできません。非公開グループのメンバーでないユーザが非公開グループの投稿またはコメントでメンションされると、メンションされたユーザに「すべてのデータの編集」権限がないかぎり、メンションは灰色のリンクで表示されます。この権限がある場合は、リンクが青色で表示されます。ただし、Salesforce セキュリティと共有ルールは引き続き適用されます。非公開グループのメンバーでないユーザには非公開グループへのアクセス権がなく、更新は表示されずそれに関する通知も行われません。

関連トピック:

[Chatter での承認の制限](#)

[Chatter Plus の制限](#)

[Chatter のファイルの制限](#)

[Chatter のファイル検索の制限](#)

フィードでのリストビューの制限

レコードフィードでのリストビューの制限です。

標準オブジェクトまたはカスタムオブジェクトのリストビューで  [フィード] をクリックすると、リストビューに含まれるレコードの過去 30 日分の更新情報が Chatter フィードに表示されます。

次の制限がリストビューの Chatter フィードに適用されます。

- フィード追跡オブジェクトの中には、リストビューに関連付けられた Chatter フィードがないものもあります。現在、商談、取引先、ケース、リード、キャンペーン、取引先責任者、およびカスタムオブジェクトに関する Chatter フィードをリストビューに表示できます。
- リストビューでドラッグアンドドロップによるスケジュールが有効な場合、リストビューに取引先、取引先責任者、リードに関する Chatter フィードは表示されません。

Chatter のファイル検索の制限

Chatter でのファイルの種類およびファイルサイズによる検索の制限です。

検索では、複数のファイルの種類がサポートされ、ファイルサイズに制限があります。ファイルが最大サイズを超える場合、そのファイル内のテキストは検索されませんが、ファイルの名前、説明、種類、および所有者は検索されます。

ファイルの種類	ファイル拡張子	検索の最大ファイルサイズ
HTML	.htm、.html、.xhtml	5 MB
PDF	.pdf	25 MB
PPT	.ppt、.pptx、.pptm	25 MB
RTF	.rtf	5 MB
テキスト	.c、.cpp、.css、.csx、.ini、.java、.log、.sql、.txt	5 MB
Word	.doc、.docx、.docm	25 MB
XLS	.xls、.xlsx、.xlsm	5 MB
XML	.xml	5 MB

関連トピック:

[検索の制限](#)

[Salesforce Files](#) と [Salesforce CRM Content](#) の制限

Chatter でのユーザ共有の制限

Salesforce システム管理者は、内部ユーザまたは外部ユーザを組織内の別のユーザから表示または非表示にするようにユーザ共有を設定できます。

Chatter では、共有されないユーザを引き続き表示し、互いにやりとりできるという例外があります。たとえば、Chatter 公開グループでは、ユーザ共有に関係なく、グループへのアクセス権を持つすべてのユーザは、すべての投稿や、投稿したユーザの名前を表示でき、投稿に対してコメントしたユーザにメンションすることができます。

 **例:** Mary と Bob が互いに表示されずやりとりできないようにユーザ共有を設定したとします。Mary は、Chatter 公開グループで投稿します。ユーザ共有により、Bob の名前はメンションドロップダウンリストに表示されないため、Mary は Bob にメンションできません。ただし、Bob は Mary の投稿を表示できるので、Mary の投稿にメンションします。これで、Mary の投稿に対する次のコメントで、Mary は Bob にメンションできるようになります。

また、共有されていないユーザでもメンションドロップダウンリストにはお互いが表示されるという例外もあります。

 **例:** Sue が Chatter で Edgar とやりとりしたことがあるとします (投稿に対していいね! という、コメントする、メンションするなど)。その後、Sue に Edgar が表示されないようにユーザ共有を設定します。Sue が公開 Chatter グループに投稿します。この場合、以前のやりとりから Edgar の名前がメンションドロップダウンリストに表示されるため、Sue は Edgar にメンションできます。ただし、ユーザ共有によって Edgar が表示されない設定になっているため、Sue が Edgar のメンションをクリックするとエラーが表示されます。

コミュニティの制限

コミュニティのユーザ、ポータルロール、モデレーション、レポート作成などに関する制限です。

このセクションの内容:

コミュニティの最大数の制限

Salesforce 組織では、最大 100 個のコミュニティを使用できます。有効なコミュニティ、無効なコミュニティ、およびプレビューコミュニティ (Force.com サイトを含む) がこの制限に対してカウントされます。

コミュニティの使用制限

コミュニティの使用状況は、1 日、1 か月、および 1 年あたりの制限値で管理されます。これらの制限値を理解することが、コミュニティの成功の鍵となります。Salesforce は、制限値を超えて超過分を購入することがないように、コミュニティの使用状況を監視するために役立つツールを提供します。

コミュニティのユーザ制限

コミュニティ種別に応じたユーザ制限です。

コミュニティライセンスの制限

コミュニティライセンスに関する制限です。

ポータルロールの制限

組織のポータルロールの制限です。

コミュニティのグループメール制限

コミュニティ内のグループに対するメール制限です。

個人取引先コミュニティユーザの制限

1 人のユーザが所有できる個人取引先外部ユーザの数の制限です。

コミュニティのレポートおよびダッシュボードの制限

コミュニティで [レポート] タブと [ダッシュボード] タブが公開されている場合、外部ユーザは、一部制限付きでレポートとダッシュボードにアクセスできます。

コミュニティのナビゲーショントピックの制限

カスタマーサービス (Napili) コミュニティで利用できるナビゲーショントピックおよびサブトピックの最大数。

コミュニティモデレーションの制限

コミュニティモデレーションの制限により、コミュニティのパフォーマンスが最適化されます。

コミュニティのその他の制限

コミュニティを使用するときのその他の機能制限です。

コミュニティの最大数の制限

Salesforce 組織では、最大 100 個のコミュニティを使用できます。有効なコミュニティ、無効なコミュニティ、およびプレビューコミュニティ (Force.com サイトを含む) がこの制限に対してカウントされます。

組織のこの制限を確認するには、[設定]から、[クイック検索] ボックスに「コミュニティ」と入力し、[すべてのコミュニティ]を選択します。[最大コミュニティ数] 項目に 100 と表示されます。

関連トピック:

[コミュニティの制限](#)

コミュニティの使用制限

コミュニティの使用状況は、1日、1か月、および1年あたりの制限値で管理されます。これらの制限値を理解することが、コミュニティの成功の鍵となります。Salesforceは、制限値を超えて超過分を購入することがないように、コミュニティの使用状況を監視するために役立つツールを提供します。

エディション	帯域幅制限 (直近の 24 時間/コミュニティあたり)	サービス要求時間 (直近の 24 時間/サイトあたり)	最大ページビュー
Developer Edition	500 MB	10 分	なし
Enterprise Edition	Sandbox 1 GB 本番 40 GB	Sandbox 30 分 本番 60 時間	500,000
Unlimited Edition	Sandbox 1 GB	Sandbox 30 分	1,000,000
Performance Edition	本番 40 GB	本番 60 時間	

帯域幅

コミュニティの発信元サーバとキャッシュサーバの両方から発信および受信されたメガバイト数 (MB)。発信元サーバは、コミュニティサイトをホストする Web サーバを示します。キャッシュサーバは、キャッシュされたコミュニティサイトページを発信する CDN サーバを示します。「直近 24 時間」は、現在の時刻の直前の 24 時間を示します。

サービス要求時間

コミュニティのページ生成に必要なサーバ時間の合計 (分単位)。

「直近 24 時間」は、現在の時刻の直前の 24 時間を示します。

ページビュー

非認証コミュニティユーザからの、コミュニティに関連付けられたページの読み込み要求。認証コミュニティユーザからの要求はページビューとしてカウントされません。キャッシュされたページビューもカウントされます。

ページビューとして数える要求

次の要求はページビューとしてカウントされます。

要求内容	例
コミュニティ Force.com ドメイン	<code>http://mycommunity.force.com</code>
カスタムコミュニティ Web アドレス	<code>http://mycommunity.com</code>

要求内容	例
コミュニティと関連付けられている任意のページ	http://mycommunity.force.com/mypage http://mycommunity.com/mypage

ページビューとして数えない要求

次の要求はページビューとしてカウントされません。

要求内容	例
[認証が必要] エラーページ	http://mycommunity.force.com/unauthorized
AJAX 要求: - JavaScript Remoting - Visualforce	- Apex: RemoteAction - Visualforce: <apex:actionFunction>
ページに読み込まれたリソース(robots.txt、お気に入りアイコンなど)	http://mycommunity.force.com/robot.txt http://mycommunity.com/favicon
添付ファイルとドキュメント	
[制限数を超えました] や [メンテナンス] など、[認証が必要] 以外のエラーページ	http://mycommunity.force.com/BandwidthExceeded
ページ内のタブクリック	
HTML 項目に含まれる画像	http://mycommunity.force.com/servlet/rtaImage
カスタムファイル項目	http://mycommunity.force.com/servlet/fileField
コミュニティと関連付けられているシステムページ (ログイン、ログアウト情報、パスワードを忘れた場合のページなど)	http://mycommunity.com/login

ページビューの制限

次の表に、それぞれのエディションでのコミュニティページビューの制限を示します。この制限は、組織内のすべてのコミュニティに適用されます。

エディション	コミュニティの最大数	最大ページビュー
Enterprise Edition	100	500,000/月
Unlimited Edition Performance Edition	100	1,000,000/月

ページビューの制限には次の注意事項があります。

- 組織のページビューエンタイトルメントは、エディションに含まれるページビューに Salesforce から購入した追加ページビューを加えた合計です。
- Salesforce は 12 か月の遡及期間を調べてページビューの超過を計算します。コミュニティページビューが組織のページビュー制限を超えた場合は、Salesforce に連絡して超過分を購入する方法を確認してください。コミュニティメンバーと未承認ユーザは、組織がページビュー制限を超えている場合でもコミュニティにアクセスできます。

カスタマーコミュニティを設定している Acme Enterprises を見てみましょう。Enterprise Edition 組織には 1 か月あたり 500,000 ページビューが含まれています。Acme はコミュニティの人気の急増することを見越して、さらに 1 か月あたり 500,000 ページビューを購入しました。ページビューエンタイトルメントの合計は 1 か月あたり 100 万ページビューになります。そのため、12 か月の遡及期間内に、Acme のコミュニティには 1200 万ページビュー (12 x 100 万ページビュー制限) が許可されます。

コミュニティで特定の月の使用量が急増し、割り当てられている 100 万の制限を超えました。Acme は超過料金を請求されるでしょうか?翌月は 100 万ページビューよりも少なかったため、請求されません。12 か月の遡及期間終了時に計算が行われるときに、すべて平均されます。つまり、コミュニティが割り当てられた制限を超えないためには、12 か月の遡及期間に平均して 1 か月あたり 100 万ページビュー未満である必要があります。

監視の制限

コミュニティのページビュー制限を正確に監視するには、AppExchange から入手できる Community Management Package for Communities の Page Views - Monthly Trend レポートを使用します。コミュニティに適した次のいずれかのパッケージをインストールします。

- [Community Management Package for Communities with Chatter](#)
- [Community Management Package for Communities without Chatter](#)

組織の [組織情報] セクションでもページビューの使用状況を確認できます。[設定] から、[クイック検索] ボックスに「組織情報」と入力し、[組織情報] をクリックします。

 **メモ:** [使用量ベースのエンタイトルメント] に表示されるページビューの許容量は、ご使用の Salesforce エディションの許容量を正確に反映していない可能性があります。

コミュニティでの API の使用制限

	Customer Community	Customer Community Plus	Partner Community	Employee Apps Starter	Employee Apps Plus
1 日あたりの API コール	0	メンバーあたり 200 件 (メンバーベースライセンス) メンバーあたり 10 件 (ログイン	メンバーあたり 200 件 (メンバーベースライセンス) メンバーあたり 10 件 (ログイン	メンバーあたり 1000 件 (Enterprise Edition 組織)	メンバーあたり 1000 件 (Enterprise Edition 組織)

	Customer Community	Customer Community Plus	Partner Community	Employee Apps Starter	Employee Apps Plus
		ベースライセンス)	ベースライセンス)	メンバーあたり 5000 件 (Unlimited Edition 組織)	メンバーあたり 5000 件 (Unlimited Edition 組織)

関連トピック:

[コミュニティの制限](#)

コミュニティのユーザ制限

コミュニティ種別に応じたユーザ制限です。

リリースの問題およびサービス品質の低下を回避するため、コミュニティ内のユーザ数が以下の制限を超えないようにすることをお勧めします。この制限を超えるユーザを必要とする場合は、Salesforce アカウントエグゼクティブにお問い合わせください。コミュニティが成長していてユーザ数を増やす必要がある場合には、ニーズを満たすために製品を拡張する方法について Salesforce のアカウント担当者にお問い合わせください。

コミュニティライセンス種別	ユーザ数
Partner または Customer Community Plus	1,000,000
Customer	10,000,000

Customer Community Plus や Partner Community などの一部のコミュニティライセンスでは、アカウントにロールが割り当てられている必要があります。ロールが拡散すると組織のパフォーマンスが低下するため、必要以上のロールを組織で使用しないようにしてください。組織のポータルまたはコミュニティで利用できるロールの最大数は 5000 です。この制限には、組織のすべてのカスタマーポータル、パートナーポータル、またはコミュニティに関連付けられたロールが含まれます。この数が不必要に増加しないように、ロール数を確認して削減することをお勧めします。使用していないロールを削除することもできます。さらに多くのロールが必要な場合は、Salesforce カスタマーサポートまでご連絡ください。

関連トピック:

[コミュニティの制限](#)

コミュニティライセンスの制限

コミュニティライセンスに関する制限です。

- コミュニティで使用しているライセンスの種別に応じて、ユーザ名の一意性について異なる要件があります。Customer Community ライセンスおよび Customer Community Plus ライセンスを使用している場合は、コミュニティが属する Salesforce 組織内でユーザ名が一意である必要があります。Partner Community ライセンスおよび Employee Community ライセンスを使用している場合は、ユーザが属するすべての Salesforce 組織でユーザ名が一意である必要があります。

- Partner Community ライセンスを持つユーザは、パートナー取引先として有効になっている法人取引先に関連付けられている必要があります。パートナーユーザを個人取引先に関連付けることはできません。
- コミュニティライセンスを持つユーザは、メールテンプレートの作成または更新ができません。これは、コミュニティでサポートされるコミュニティライセンスとポータルライセンスの両方に影響します。
- Customer Community ライセンスでは、共有セットはサポートされますが、共有ルールはサポートされません。共有セットでは、同じ種別の複数の他のオブジェクトに関連付けられているオブジェクト(取引先責任者-to-複数取引先機能など)はサポートされません。そのような機能を使用するには、コミュニティメンバーに Customer Community Plus または Partner Community ライセンスが必要です。
- 次のライセンスを持つカスタマーユーザは、Salesforce タブ + Visualforce テンプレートを使用して構築されたコミュニティでは、デスクトップブラウザ上でケースの状況を更新できません。ただし、Salesforce1 モバイルブラウザアプリケーションからはケースの状況を更新できます。
 - Customer Community
 - High Volume Portal User
 - Customer Portal
- Partner Community ライセンスを持つユーザは、Salesforce タブ + Visualforce テンプレートを使用するコミュニティで [見積] タブにアクセスできません。ただし、商談など UI 内の別の場所からはユーザの権限に応じて見積を参照、変更、更新できます。Lightning コミュニティでは、見積はサポートされていません。

ポータルロールの制限

組織のポータルロールの制限です。

組織のポータルまたはコミュニティで使用できるロールの最大数は 5000 です。この制限には、組織のすべてのカスタマーポータル、パートナーポータル、またはコミュニティに関連付けられたロールが含まれます。この数が不必要に増加しないように、ロール数を確認して削減することをお勧めします。使用していないロールを削除することもできます。さらに多くのロールが必要な場合は、Salesforce カスタマーサポートまでご連絡ください。

関連トピック:

[コミュニティの制限](#)

コミュニティのグループメール制限

コミュニティ内のグループに対するメール制限です。

コミュニティでは、この設定を選択したグループのメンバーが 10,000 人を超えると、[すべての投稿でメール送信] オプションが無効になります。このオプションを選択しているすべてのメンバーが、自動的に [毎日のダイジェスト] に切り替えられます。

関連トピック:

[コミュニティの制限](#)

個人取引先コミュニティユーザの制限

1 人のユーザが所有できる個人取引先外部ユーザの数の制限です。

Salesforce ユーザは最大 1000 件の個人取引先ポータルユーザの所有者になることができます。これには、Customer Community Plus ライセンス、Customer Portal ライセンス、およびその他のロールベースのポータルライセンスを持つ個人取引先ユーザが含まれます。High Volume Customer Portal や Customer Community など、大規模ポータルライセンスを持つ個人取引先ユーザは、この制限数の対象にはなりません。パートナーポータルライセンスまたはパートナーコミュニティライセンスを持つユーザは、個人取引先ユーザになり得ないため、この制限は適用されません。

関連トピック:

[コミュニティの制限](#)

コミュニティのレポートおよびダッシュボードの制限

コミュニティで[レポート]タブと[ダッシュボード]タブが公開されている場合、外部ユーザは、一部制限付きでレポートとダッシュボードにアクセスできます。

❗ 重要: 外部ユーザがレポートを作成および編集できるようにするには、組織で拡張共有モデルを使用する必要があります。「[分析フォルダ共有](#)」を参照してください。

次のライセンスを持つコミュニティユーザにレポートの作成および編集権限を付与できます。

コミュニティライセンス

- Customer Community Plus
- Customer Community Plus ログイン
- Partner Community
- Partner Community ログイン

ポータルライセンス

- Customer Portal Manager
- Customer Portal Manager カスタム (エンタープライズ管理ユーザ用)
- Customer Portal Manager 標準
- Customer Portal Manager ユーザ
- Gold Partner
- Ideas Only Portal
- Overage Customer Portal Manager カスタム
- Overage Customer Portal Manager 標準
- Partner
- Silver Partner (「レポートのエクスポート」権限はこのライセンスでは使用できません)

 **メモ:**

- これらの権限は、Customer Community や High Volume Customer Portal、Service Cloud Portal、および Authenticated Website などの大規模ユーザライセンスでは使用できません。

- 従来のポータルライセンスを持つ外部ユーザは、コミュニティのレポートを作成および編集できますが、ポータルのレポートは作成および編集できません。

外部ユーザに権限を付与しても、外部ユーザは次のことは実行できません。

- レポートまたはダッシュボードで特定の日にメール送信および更新を行うようにスケジュールする
- 統合公開レポートフォルダにあるレポートを作成、編集、参照する

コミュニティ内のすべてのロールベースの外部ユーザは、「指定したユーザとして実行」および「ログインしたユーザとして実行」を使用して、設定されたダッシュボードを、組織ごとに1日1,000回まで更新できます。スケジュール設定された自動更新は、この制限にカウントされません。内部ユーザに対しては、更新制限はありません。

「指定したユーザとして実行」オプションには、すべてのロールベースの外部ユーザが選択できます。

関連トピック:

[コミュニティの制限](#)

コミュニティのナビゲーショントピックの制限

カスタマーサービス (Napili) コミュニティで利用できるナビゲーショントピックおよびサブトピックの最大数。

ナビゲーショントピックの制限

カスタマーサービス (Napili) コミュニティテンプレートで設定できるナビゲーショントピックおよびサブトピックの最大数を次に示します。

レベル	最大エントリ数
1 (親)	25
2 (サブトピック)	10
3 (サブトピック)	10

関連トピック:

[コミュニティの制限](#)

コミュニティモデレーションの制限

コミュニティモデレーションの制限により、コミュニティのパフォーマンスが最適化されます。

条件の制限

- 組織では、最大30個のキーワードリスト条件を設定できます。これは、コミュニティ単位ではなく組織単位の制限です。

- 組織では、最大 100 個のメンバー条件を設定できます。これは、コミュニティ単位ではなく組織単位の制限です。

ルールの制限

- 組織では、最大 30 個のルールを設定できます。これは、コミュニティ単位ではなく組織単位の制限です。この制限には、コンテンツルールと処理数ルールの両方が含まれます。
- モデレーションルールは、フィード投稿、コメント、アンケートにのみ適用されます。モデレーションルールは、作成されたトピックには適用されません。

監査の制限

フィード項目の状況への変更は、監査履歴インサイトレポートに含まれません。

関連トピック:

[コミュニティの制限](#)

コミュニティのその他の制限

コミュニティを使用するときのその他の機能制限です。

- コミュニティでは、行動とカレンダーを使用したドラッグアンドドロップによるスケジュールは使用できません。
- Lightning コミュニティでは、見積りはサポートされていません。

機能の制限

このセクションの内容:

[アクションの制限事項](#)

アクションの制限事項です。

[キャンペーンの制限](#)

キャンペーン階層、取引先責任者、影響期間条件の制限です。

[取引先責任者の制限](#)

法人取引先に関連付けられた取引先責任者の制限です。

[取引先責任者の役割の制限事項](#)

取引先責任者の役割には、いくつかの制限事項があります。

[インポートの制限](#)

データインポートの制限はレコードタイプによって異なります。

[個人取引先および法人取引先の制限](#)

個人取引先および法人取引先の項目の制限です。

見積の制限

見積テンプレートおよび見積 PDF の制限です。

スケジュールの制限

組織が使用できるスケジュールタイプの制限です。

エンタープライズテリトリー管理の制限

エンタープライズテリトリー管理のモデル、テリトリー、および割り当てルールの制限。

プロセスの自動化の制限

プロセスの自動化ツールであるプロセスビルダー、Visual Workflow、ワークフロー、および承認の制限を確認します。

地図およびロケーションサービスの制限

ユーザあたりのマップビューの制限です。

レポートおよびダッシュボード REST API の制限

レポートおよびダッシュボード REST API の制限

Visualforce コンポーネントの制限

Visualforce コンポーネントおよびページに関する制限です。

関連トピック:

[Visual Workflow の制限および考慮事項](#)

アクションの制限事項

アクションの制限事項です。

- Lightning Experience でサポートされていないオブジェクトに関連付けられたアクションは、[グローバルアクション] メニューには表示されません。また、[グローバルアクション] メニューでは、標準の Chatter アクション ([投稿]、[ファイル]、[アンケート]、[リンク]、[質問]、[感謝]) はサポートされていません。
- モバイルスマートアクションは、どのページレイアウトに追加するかに関係なく、Salesforce フルサイトには表示されません。Salesforce1 のユーザにのみ表示されます。
- Lightning Experience の Chatter ページでは、標準の Chatter アクション ([投稿]、[アンケート]、および [質問]) のみがサポートされ、グループが設定されていれば、[お知らせ] アクションもサポートされます。
- ユーザプロフィールページには、ユーザページレイアウトのアクションに関係なく、Chatter 標準アクション ([投稿]、[ファイル]、[リンク]、[アンケート]、[感謝]) のみが表示されます。
- 取引先と取引先責任者のリレーションオブジェクトでは、カスタムアクションが制限付きでサポートされています。
 - カスタムアクションは、[取引先と取引先責任者のリレーション] オブジェクトに固有である必要があります。グローバルアクションはサポートされていません。

エディション

使用可能なエディション:

Group Edition、
Professional Edition、
Enterprise Edition、
Performance Edition、
Unlimited Edition、**Contact Manager Edition**、
Database.com Edition、および **Developer Edition**

- レコードを更新するアクションや Lightning コンポーネントまたは Visualforce ページを呼び出すアクションは作成できますが、レコードを作成するアクションを作成することはできません。
- [取引先と取引先責任者のリレーション] オブジェクトにはアクティビティを関連付けられないため、メールを送信するアクションや活動を記録するアクションは作成できません。
- [取引先と取引先責任者のリレーション] オブジェクトのデフォルトのアクションは上書きできません。
- [取引先と取引先責任者のリレーション] オブジェクトを対象オブジェクトとして使用できるのは、取引先責任者オブジェクト上で作成されたカスタムアクションのみです。
- [取引先と取引先責任者のリレーション] オブジェクトには Chatter フィードが含まれないため、Chatter 標準アクションはサポートされていません。

キャンペーンの制限

キャンペーン階層、取引先責任者、影響期間条件の制限です。

このセクションの内容:

キャンペーン階層の制限

キャンペーン階層は、関連するキャンペーンの健全度を分析およびレポートするのに役立ちます。参照関係を使用してキャンペーンを相互に関連付けることにより、特定のマーケティングプログラムやマーケティング活動でキャンペーンをグループ化できます。

キャンペーンインフルエンス期間条件の制限

キャンペーンインフルエンス期間条件は、影響のあるキャンペーンとみなされる最大日数を指定します。

取引先責任者またはリードのキャンペーンへの追加に関する制限

キャンペーンとは、ダイレクトメールプログラム、セミナー、印刷広告、メール、またはその他のマーケティング活動など、外部向けマーケティングプロジェクトです。

キャンペーン階層の制限

キャンペーン階層は、関連するキャンペーンの健全度を分析およびレポートするのに役立ちます。参照関係を使用してキャンペーンを相互に関連付けることにより、特定のマーケティングプログラムやマーケティング活動でキャンペーンをグループ化できます。

階層には、最大5レベルを含めることができます。各キャンペーンに対して設定できる親キャンペーンは1つだけですが、子キャンペーンの数は無制限です。

キャンペーンインフルエンス期間条件の制限

キャンペーンインフルエンス期間条件は、影響のあるキャンペーンとみなされる最大日数を指定します。

キャンペーンインフルエンス期間条件は、最大9,999日です。

取引先責任者またはリードのキャンペーンへの追加に関する制限

キャンペーンとは、ダイレクトメールプログラム、セミナー、印刷広告、メール、またはその他のマーケティング活動など、外部向けマーケティングプロジェクトです。

既存の顧客 (取引先責任者) または見込み客 (リード) をキャンペーンに追加する場合、次の制限が適用されます。

表 1: 取引先責任者の追加に関する制限

取引先責任者の追加元	最大レコード数
レポート	1 レポートにつき 50,000 件
CSV 形式のファイル	1 インポートファイルにつき 50,000 件
リストビュー	1 リストページにつき 200 件

表 2: リードの追加に関する制限

リードの追加元	最大レコード数
レポート	1 レポートにつき 50,000 件
CSV 形式のファイル	1 インポートファイルにつき 50,000 件
リストビュー	1 リストページにつき 200 件

取引先責任者の制限

法人取引先に関連付けられた取引先責任者の制限です。

取引先責任者は、法人取引先に関連付けられた人です。各取引先責任者には、電話番号、住所、役職、取引上の役割などの情報が含まれます。

取引先責任者の複数の取引先への関連付けに関する制限事項

取引先責任者-to-複数取引先を使用して、1つの取引先責任者を複数の取引先に関連付けることができます。

- ほとんどの機能では、取引先責任者の主取引先が引き続き参照されます。たとえば、Data.com の重複管理では、レコードの比較時に主取引先が使用されます。したがって、間接取引先と取引先責任者のリレーションは、重複レコードの検出に使用する一致条件に含まれません。
- [取引先と取引先責任者] 標準レポートタイプからレポートを実行する場合、間接取引先責任者は使用できません。
- Customer Community ライセンスを持つコミュニティユーザは、取引先と取引先責任者の間接リレーションを参照できません。
- 取引先と取引先責任者のリレーションオブジェクトでは、次のカスタム項目種別はサポートされません。
 - 参照関係
 - 主従関係

- 積み上げ集計
- ロングテキストエリア
- テキストエリア (リッチ)
- 取引先と取引先責任者のリレーションオブジェクトでは、次の機能とカスタマイズはサポートされません。
 - 項目履歴
 - 項目セット
 - 承認
 - レコードタイプ
- 取引先と取引先責任者のリレーションオブジェクトでは、カスタムアクションが制限付きでサポートされています。
 - カスタムアクションは、[取引先と取引先責任者のリレーション] オブジェクトに固有である必要があります。グローバルアクションはサポートされていません。
 - レコードを更新するアクションや Lightning コンポーネントまたは Visualforce ページを呼び出すアクションは作成できますが、レコードを作成するアクションを作成することはできません。
 - [取引先と取引先責任者のリレーション] オブジェクトにはアクティビティを関連付けられないため、メールを送信するアクションや活動を記録するアクションは作成できません。
 - [取引先と取引先責任者のリレーション] オブジェクトのデフォルトのアクションは上書きできません。
 - [取引先と取引先責任者のリレーション] オブジェクトを対象オブジェクトとして使用できるのは、取引先責任者オブジェクト上で作成されたカスタムアクションのみです。
 - [取引先と取引先責任者のリレーション] オブジェクトには Chatter フィードが含まれないため、Chatter 標準アクションはサポートされていません。
- [取引先と取引先責任者のリレーション] オブジェクトはカスタムボタンをサポートしますが、リストビュー上のカスタムボタンの内容のソースを Visualforce ページにすることはできません。

取引先責任者履歴に関する制限

- 取引先責任者の関連リストに対する変更は、取引先責任者履歴で追跡されません。

取引先責任者および個人取引先のカスタマーポータルの有効化および管理に関する制限

- 代理管理者は High Volume Customer Portal ライセンスを取引先責任者に割り当てることはできません。
- API からカスタマーユーザを作成した場合、そのユーザには「Chatter Answers ユーザ」権限が選択されません。
- 個人取引先ユーザがカスタマーポータルにセルフ登録しようとする、ポータル管理者に問い合わせるように指示するメール通知が送信されます。「カスタマーポータルのログインと設定の有効化」を参照してください。
- カスタマーポータルの使用が有効になっている個人取引先はマージできません。
- カスタマーポータルの使用が有効になっている個人取引先は削除できません。

- パートナーポータルが有効になっている取引先責任者は、同様にパートナーポータルが有効になっている取引先へのみ移行できます。

セルフサービスが有効になっている取引先責任者の取引先の変更に関する制限

- セルフサービスポータルで、セルフサービスユーザである取引先責任者は、現在の取引先に関連付けられている場合にのみケースを参照できます。
- セルフサービスユーザが商談を表示することはできません。

取引先責任者および個人取引先のセルフサービスの削除に関する制限

- 有効なセルフサービスユーザを削除することはできません。セルフサービスへのユーザのアクセス権を無効にすることのみが可能です。
- 有効なセルフサービスユーザに関連付けられている取引先責任者または個人取引先を削除することはできません。代わりに、セルフサービスポータルへのユーザのアクセス権を無効にしてから、その取引先責任者または個人取引先を削除します。

取引先責任者の役割の制限事項

取引先責任者の役割には、いくつかの制限事項があります。

- 取引先責任者の詳細ページから商談を作成すると、その責任者が商談の主取引先責任者になります。ただし、取引先責任者の役割は自動的に割り当てられません。
- ケース取引先責任者の役割では、[主] オプションは使用できません。ケースの主取引先責任者は常に、[ケース詳細] セクションの [取引先責任者名] に表示されている取引先責任者となります。

エディション

使用可能なエディション:
Salesforce Classic および
Lightning Experience の両方

使用可能なエディション:
すべてのエディション

インポートの制限

データインポートの制限はレコードタイプによって異なります。

ACT!、Outlook、CSV (カンマ区切り値) 形式でデータ保存できるプログラム (Excel や GoldMine など) から、データをインポートできます。

レコードタイプ	インポートレコードの件数制限	必要なユーザ権限
自分が所有する法人取引先と取引先責任者	データインポートウィザードを使用して一度に 50,000 件	「個人データのインポート」
他のユーザが所有する法人取引先と取引先責任者	一度に 50,000 件	「すべてのデータの編集」
自分が所有する個人取引先	一度に 50,000 件	取引先に対する「作成」 および 取引先に対する「編集」

レコードタイプ	インポートレコードの件数制限	必要なユーザ権限
		および 「個人データのインポート」
他のユーザが所有する個人取引先	一度に 50,000 件	取引先に対する「作成」 および 取引先および取引先責任者に対する「編集」 および 「すべてのデータの編集」
リード	一度に 50,000 件	「リードのインポート」
キャンペーンメンバー	一度に 50,000 件	インポートするデータに応じて異なります。 • キャンペーンメンバーの状況 • 既存の取引先責任者 • 既存のリード • 既存の個人取引先 • 新規取引先責任者 • 新規リード
カスタムオブジェクト	一度に 50,000 件	カスタムオブジェクトのインポート および カスタムオブジェクトに対する「作成」 および カスタムオブジェクトに対する「編集」
ソリューション	一度に 50,000 件	「ソリューションのインポート」
納入商品 ケース キャンペーン 契約 ドキュメント 商談	これらのレコードはデータインポートウィザードを使用してインポートできません。	

レコードタイプ	インポートレコードの件数制限	必要なユーザ権限
商品		

インポートファイルは最大100MBにすることができますが、ファイルの各レコードは400 KBを超えることができません。これは約4,000文字に相当します。インポートできる項目の数を判断するには、 $4,000 / (\text{API 項目名の平均文字数} * 2)$ という数式を使用します。たとえば、項目の平均文字数が40である場合は、約50の項目をインポートできます。また、インポートされるメモと説明はそれぞれ、32 KBを超えることはできません。32KBより長い説明は切り捨てられます。納入商品、ケース、キャンペーン、契約、ドキュメント、商談、商品は、インポートウィザードではインポートできません。

関連トピック:

[個人取引先および法人取引先の制限](#)

個人取引先および法人取引先の制限

個人取引先および法人取引先の項目の制限です。

組織で個人取引先を使用している場合は、取引先項目ページに、個人取引先および法人取引先項目の両方が一覧表示されます。個人取引先では、取引先および取引先責任者項目が併用されます。次の取引先責任者項目は、個人取引先では使用できますが、法人取引先では使用できません。

- 個人取引先アイコンが表示されている取引先標準項目リスト内の項目。
- 取引先責任者カスタム項目 & リレーションリスト内の項目。

見積の制限

見積テンプレートおよび見積 PDF の制限です。

見積テンプレートの制限

状況によって、項目が見積テンプレートのパレットや、テンプレートから作成したPDFに表示されないことがあります。

- テキスト項目のデフォルト値が255文字を超えている場合、その項目は見積テンプレートで使用できません。
- 項目レベルセキュリティ設定によって表示や更新ができない項目は、テンプレートにその項目が含まれている場合でも、テンプレートから作成したPDF上に表示されません。PDFには参照のみの項目が表示されます。
- 見積ページレイアウト上に表示されていて、特定の見積の値がない項目は、見積テンプレートのパレットに表示されますが、その見積から作成したPDFには表示されません。
- データが含まれていない見積品目名の項目は、テンプレートにその項目が含まれていても、PDF作成時にはリストに列として表示されません。たとえば、割引を提供する見積品目名がない場合、リストに「割引」項目が含まれていても、「割引」列は表示されません。

- 見積ページレイアウト上に関連するリストが含まれていない場合、テンプレートパレットまたはそのページレイアウトを使用する見積の PDF に表示されません。

見積 PDF の制限

- 見積 PDF の関連リストに表示されるテキスト項目は、256 文字未満に切り捨てられます。この制限は、リッチテキストエリア項目、他のタイプのテキスト項目、標準項目、カスタム項目に適用されます。
- 見積 PDF では、右から左へ記述される言語はサポートされません。テキストは右揃えではなく左揃えで表示されます。

スケジュールの制限

組織が使用できるスケジュールタイプの制限です。

Salesforce システム管理者は組織で使用可能なスケジュールの種類を決定します。これらは数量スケジュール、収益スケジュール、またはその両方です。システム管理者は、個別の商品ごとに設定可能なスケジュールの種類も指定します。

Apex でスケジュールを参照している場合、無効にできるスケジュール種別 (数量または収益) は 1 つのみです。たとえば、Apex でスケジュールオブジェクト (コード内の `OpportunityLineItemSchedule`) を参照している場合、片方のスケジュール種別を無効にすることはできますが、両方を無効にすることはできません。

エンタープライズテリトリ管理の制限

エンタープライズテリトリ管理のモデル、テリトリ、および割り当てルールの制限。

テリトリモデルの制限

組織の Salesforce のエディションによって、本番組織および Sandbox 組織で作成できるテリトリモデル数が決まります。この制限には、コピーによって作成されたモデルも含まれます。

エディション	本番組織でのモデル数	Sandbox 組織でのモデル数
Developer	4	4
Enterprise	2	2
Performance	4	4
Unlimited	4	4

エディション

使用可能なエディション:
Salesforce Classic

使用可能なエディション:
Developer Edition および
Performance Edition と、
Sales Cloud が付属した
Enterprise Edition および
Unlimited Edition

テリトリのデフォルトの制限

デフォルトでは、各テリトリモデルには最大 1,000 個のテリトリを設定できます。

割り当てルールの制限

各テリトリーには 15 個までの割り当てルールを指定できます。

プロセスの自動化の制限

プロセスの自動化ツールであるプロセスビルダー、Visual Workflow、ワークフロー、および承認の制限を確認します。

ワークフロールールの制限

説明	組織単位の制限
オブジェクト全体のワークフロールール合計数 (この制限は、ワークフロー、割り当て、自動レスポンス、およびエスカレーションの有効なルールと無効なルール両方の任意の組み合わせに適用されます)	2,000
オブジェクトあたりのワークフロールール合計数 (この制限は、ワークフロー、割り当て、自動レスポンス、およびエスカレーションの有効なルールと無効なルール両方の任意の組み合わせに適用されます)	500
オブジェクトあたりの有効なワークフロールール合計数 (この制限は、プロセスとワークフロー、割り当て、自動レスポンス、およびエスカレーションの有効なルールの任意の組み合わせに適用されます)	50
ワークフロールールあたりのタイムトリガ合計数 ¹	10
ワークフロールールあたりのルール適用時のアクション合計数 ¹	40
タイムトリガあたりの時間ベースのアクション合計数	40

エディション

使用可能なエディション:
Salesforce Classic および
Lightning Experience の両方

使用可能なエディション:
Enterprise Edition、
Performance Edition、
Unlimited Edition、および
Developer Edition

説明	組織単位の制限
1 日あたりのワークフローメール	標準 Salesforce ライセンスあたり 1,000 件 (Developer Edition では 15 件)、組織あたり 2,000,000 件
1 時間あたりのワークフロータイムトリガ数	50
フロートリガワークフローアクション: フロー変数の割り当て ²	25 (Professional Edition ではなし)

¹ルール適用時のアクションと各タイムトリガの制限は、次のとおりです。

- 最大 10 回のメールアラート
- 最大 10 件の ToDo
- 最大 10 項目の更新
- 最大 10 件のアウトバウンドメッセージ
- 最大 10 件のフロートリガ²

²フロートリガワークフローアクションのパイロットプログラムは終了しました。組織でパイロットをすでに有効にしている場合は、引き続きフロートリガワークフローアクションを作成および編集できます。組織でパイロットを有効にしなかった場合は、代わりにプロセスビルダーの [フロー] アクションを使用します。

承認プロセスの制限

制限	詳細
組織あたりの承認プロセス合計数	1,000
オブジェクトあたりの承認プロセス合計数	300
承認プロセスあたりのステップ合計数	30
ステップあたりの承認者合計数	25
承認プロセスあたりの申請時のアクション合計数 ²	40
承認プロセスあたりの最終承認時のアクション合計数 ²	40
承認プロセスあたりの最終却下時のアクション合計数 ²	40
承認プロセスあたりの取り消しアクション合計数 ²	40
承認申請コメントの最大文字数	4,000 中国語、日本語、または韓国語の場合は 1,333 文字に制限されます。

プロセスビルダーおよび Visual Workflow の制限

プロセスビルダーおよび Visual Workflow の制限は、それらの機能のドキュメントに記載されています。

関連トピック:

[割り当てルール、自動レスポンスルール、エスカーレーションルール、およびワークフロールールの制限](#)

地図およびロケーションサービスの制限

ユーザあたりのマップビューの制限です。

地図およびロケーションサービスでは、Google マップを使用して標準住所項目の地図を表示し、Visualforce 地図を作成できます。また、ユーザがオートコンプリートを使用して新しい住所を入力できます。

マップビューの制限

各有料ユーザおよびプロビジョニング対象ユーザは、1年あたり4,000回のマップビューが許可されています。組織全体のマップビューは、その有料ユーザとプロビジョニング対象ユーザに割り当てられた合計マップビュー数に制限されます。この組織の合計マップビュー数は、有料ユーザと無料ユーザの両方によって共有されます。マップビューは次のいずれかとして定義されます。

- 個々の標準住所の地図の表示
 - ☑ **メモ:** 同一レコードの請求先住所と納入先住所を表示した場合、2回のマップビューとみなされます。
- 単一の Visualforce 地図の表示
- 場所が Visualforce 地図上の住所で指定されている地図のマーカーの表示
 - ☑ **メモ:** 場所が緯度と経度で定義された地図のマーカーは、マップビューには表示されません。
- 標準住所項目のルックアップの各オートコンプリート

レポートおよびダッシュボード REST API の制限

レポートおよびダッシュボード REST API の制限

レポートおよびダッシュボード REST API には次の制限があります。

レポート API の制限

- クロス条件、標準レポート条件、行制限による絞り込みは、データを絞り込む場合には使用できません。
- 履歴トレンドレポートは、マトリックスレポートでのみサポートされています。
- API では、列として選択された 100 個までの項目を含むレポートのみ処理できます。
- 最近参照した 200 個までのレポートのリストが返されます。
- 1 時間あたり 500 回までのレポートの同期実行を組織で要求できます。
- API では、一度に 20 回までのレポートの同期実行の要求をサポートしています。
- 非同期に実行された 2,000 個までのレポートインスタンスのリストが返されます。

- APIでは、レポートの非同期実行の結果を取得するために、一度に200件までの要求をサポートしています。
- 1時間あたり1,200回までの非同期要求を組織で要求できます。
- レポートの非同期実行の結果は、24時間以内に使用できます。
- APIでは、レポートの最初の2,000行までが返されます。検索条件を使用して結果を絞り込むことができます。
- レポートの実行時にカスタム項目の検索条件を20件まで追加できます。

ダッシュボード API の制限

- 1時間あたり200回までのダッシュボードの更新を組織で要求できます。
- 1時間あたり最大5,000個のダッシュボードの結果を組織で要求できます。

Visualforce コンポーネントの制限

Visualforce コンポーネントおよびページに関する制限です。

Visualforce では、タグベースのマークアップ言語を使用して、アプリケーションを開発したり、Salesforce のユーザーインターフェースをカスタマイズしたりします。

制限	値
Visualforce ページ名の最大長 (Visualforce ページとして一意に識別される URL のテキスト)	40 文字 ページ名は、40 文字以内にしてください。
Visualforce ページ (ソースコードであり、表示される応答ではありません) のソースコードの最大長	1 MB のテキスト 1つのページには、最大1 MB のテキスト、約1,000,000文字まで保持できます。
Visualforce コンポーネント (ソースコード) のソースコードの最大長	1 MB のテキスト 1つのコンポーネントに、最大1 MB のテキスト、約1,000,000文字を入れることができます。
プロファイルタブに表示される Visualforce ページの最大幅	750 ピクセル プロファイルタブに表示される単一ページの幅は、750 ピクセル以下にする必要があります。